学校コード F137110110310 注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 研究科の設置

注1



注2

香川大学大学院 創発科学研究科 創発科学専攻

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人 香川大学 令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 林町地区統合事務センター

職名・氏名 専門員 安岡

電話番号 087-864-2033

(夜間) 087-864-2033

e —mail yasuoka.kazuaki@kagawau.ac.ip

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) OO大学 $\triangle \triangle$ 学部 $\Box \Box$ 学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合:「○○大学大学院」

- ・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

創発科学研究科

<倉	創発科学専攻〉 ^	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 香川大学

- (2) 大 学 名 香川大学大学院
- (3) 調査対象大学等の位置 (大学本部及び幸町キャンパス) (林町キャンパス) 〒761-0016 〒761-0396

香川県高松市幸町1-1 香川県高松市林町2217-20

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(カケヒ ヨシュキ) 筧 善行 (H29. 10. 1)		
理事	(イマイタ゛ カツミ) 今井田 克己 (H31, 4, 1)		
研究科長	(スエナガ ヨシヒロ) 末永 慶寛 (R4.4.1)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)令和5年度に報告する内容 → (5)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
 - (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください。
 - 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、

 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	Die C. BilΩ
創発科学研究科 創発科学専攻 修士(教育学) 修士(法学) 修士(紅学) 修士(工学) 修士(危機管理学) 修士(党術)	教育学・保育 学関係 法学関係 経済学関係 工学関係	2 年	130	2年次 一 人 3年次 一 人 4年次 一	260 人		教育学部 法学部 経済学部 創造工学部

- 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。

 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の
 - 「学位又は子行の刀打」には、「砂ツヤロロ」への、「大田田田田」、「大田田田田」、「大田田田田」、「大田田田田」、「大田田田田」、「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、 「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成3	0年度	令和	元年度	令和	2年度	令和	3年度	令和 4	4 年度	令和5年度	平均入学	平均入学 定員超過率	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学 その他の学期	定員超過率	(控除後)	充 足 率	(控除後)	ИHI	73
A 入学定員	,	, <u>,</u>	,	, ,	,	, ,	,	, Y		30 一人	130 人 一人						
	[,]	[,]	[,]	[,]	[-	- ′]	[-]						
志願者数	()	()	()	()	()	()	() []	()	172 (-)	(-) [-]	185 - (-)(-)						
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	163 (-)	- (-)	179 – (-)(-)	1.11倍	1. 11倍	1. 11倍	1. 11倍		
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	149 (-) [9]	- (-) [-]	170 - (-)(-) [6][-]						
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	136 (-) [8]	- (-) [-]	155 – (-)(-) [6][-]						
入学定員超過率 B/A									1.	04	1. 19						

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 - ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、 (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 -]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。 <u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 - なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 - <u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、
 - 報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 - なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
 - 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。 なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて
 - 報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象:	年度	平成3	0年度	令和范	元年度	令和:	2年度	令和:	3年度	令和	4年度	令和!	5年度	備		考
学 年		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			79
										136	-	155	-			
1 年次		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[8]	[-]	[6]	[-]			
		()	()	()	()	()	()	()	()	(0)	(-)	(0)	(-)			
										-	-	133	-			
2年次				[]	[]	[]	[]	[]	[]				[-]			
		_		()	()	()	()	()	()	(-)	(-)	(0)				
3年次							, ,		. ,	- ,	- 1	- 1	- 1			
3 年次						()	()	()	[]	[-]	[-]	[-]	(-)			
	-		_		_	()		()	,	-	-	-	-	-		
4 年次				ر ا		ر ا		[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]			
								()	()	(-)		(-)	(-)			
										1	36	2	88	1		
計]]	[]	[]	[]	[8]	[14	4]			
		()	()	()	()	(0)	(0)			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

 - ・ 報告年度の3月1日現在の情報をお入してください。(適年度については、各年度未時点の情報をして記入してください。 ・ [] 内には、<u>留学生の状況について、**内教で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。 ・ () 内には、<u>留年者の状況について、**内教で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入</u>してください。 ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分							
	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳 退学	'者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
対象年度			入学した年度	×2.1	うち留学生数	(由子土の理由は、」香さ)	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人		
令和元年度	ل	$^{ m extsf{L}}$	平成30年度	人	人		
节和几千度	^	^	令和元年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人		
			令和2年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人		
				令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			令和元年度	人	人		
令和4年度	136 人	3 人	令和2年度	人	人		
			令和3年度	人	人		
			令和4年度	3 人	0 人	除籍(1人)、進路変更(2人)	
			平成30年度	人	人		
			令和元年度	人	人		
令和5年度	288 人	0 人	令和2年度	人	人		
			令和3年度	人	人		
			令和4年度	0 人	0 人		
			令和5年度	0 人	0 人		
合 計		3 人		3 人	0 人		

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)就学意欲の低下 ・学カ不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】		
平成30年度の退学者数(a) = 0 = 平成30年度の在学者数(b) = 0 =	-	%
【令和元年度】		
	-	%
【令和2年度】		
	-	%
【令和3年度】		
<u>令和3年度の退学者数(a)</u> 令和3年度の在学者数(b) = = = =	-	%
【令和4年度】		
令和4年度の退学者数(a) = 3 令和4年度の在学者数(b) 136	2.2	%
【令和5年度】		
令和5年度の退学者数(a) = 0 令和5年度の在学者数(b) 288	0	%

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<創発科学研究科創発科学専攻>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

	6月时人16届四日		È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
	研究倫理	1前	<u>修</u>	択	由	授 1	授	師	教	手	担
	創発の基礎(D)	1前	1			2					
	創発の基礎(R)	1前	1			1					
	創発の基礎(I)	1前	1			1					
	創発の方法	1前	1				1				1
	創発の発展	1前	1			1					
共通科	創発の視点	1後		1		1					
Ħ	創発の思考	1後		1			1				
	創発の実践	1後		1							2
	SDGs	1後		1		2					
	ELSI	1後		1		1	1				
	フィールドスタディ	1後		1		3					
	小計(12科目)	-									
	憲法 [※	1前・後		2		1					
	憲法Ⅱ※	1前・後		2		1					
	憲法皿※	1前・後		2			1				
専門	憲法Ⅳ※	1前・後		2			1				
科	民法 I	1前・後		2			1				
目(:	民法Ⅱ	1前•後		2			1				
法律専	民法Ⅲ	1前・後		2			1				
, 門 職	民法Ⅳ	1前・後		2			1				
ユニット											
<u>ا</u>											
	民事手続法 I	1前・後		2			1				
	民事手続法Ⅱ	1前·後		2			1				
	商法 I	1前·後		2		1					

【令和5年度】

5 1 □		配业	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	 研究倫理	1前	<u>修</u>	択	由	授 1	授	師	教	手	担
	創発の基礎(D)	1前	1			3					
	創発の基礎(R)	1前	1			1					
	創発の基礎(I)	1前	1			1					
	創発の方法	1前	1				1				1
共	創発の発展	1前	1			6					
通科	創発の視点	1後		1		3					
Ħ	創発の思考	1前		1		1	1				
	創発の実践	1前		1		5	1				5
	SDGs	1後		1		6	1				
	ELSI	1前		1		5					
	<mark>フィールドスタディ</mark>	1前		1		3					
	小計(12科目)	_									
	憲法 I ※	1前		2		1					
	憲法Ⅱ※	1後		2		1					
	憲法皿※	1前		2			1				
専門	憲法Ⅳ※	1後		2			1				
科	民法 I	1後		2			1				
目(共	民法Ⅱ	1前		2			1				
法律	廃止										
専門職	廃止										
_											
그	民法Ⅴ	1前		2			1				
ット	民法Ⅵ	1後		2			1				
\cup	民事手続法 I	1前		2			1				
	民事手続法Ⅱ	1後		2			1				
	商法I	1前		2		1					

<u> </u>	う和 4 年度】 		į	单位数	女	恵	任数	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
	研究倫理	1 ***	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
	研究冊理 創発の基礎(D)	1前 1前	1			3					
	創発の基礎(R)	1前	1			1					
	創発の基礎(I)	1前	1			1					
	創発の方法	1前	1				1				1
共	創発の発展	1前	1			6					
通科目	創発の視点	1後		1		3					
	創発の思考	1前		1		1	1				
	創発の実践	1前		1		6	1				5
	SDGs	1後		1		6	1				
	ELSI	1前		1		5					
	フィールドスタディ	1後		1		3					
	小計(12科目)										
	憲法 I ※	1前		2		1					
	憲法Ⅱ※	1後		2		1					
専	憲法皿※	1前		2			1				
門	憲法Ⅳ※	1後		2			1				
科	民法 I	1後		2			1				
目(法	民法Ⅱ	1前		2			1				
律専門	民法皿	1前		2			1				
職	民法Ⅳ	1後		2			1				
ユニッ	民法V	1前		2			1				
١	民法VI	1後		2			1				
	民事手続法 I	1前		2			1				
	民事手続法Ⅱ	1後		2			1				
	商法 I	1前		2		1					

_ <u>L</u> ä	図可時又は届出E	寺』 	í	单位数	Str	声	[任数	·旨笙	の配	置	兼
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区刀		+ 0	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	商法Ⅱ	1前・後		2		1					
	商法Ⅲ	1前•後		2		1					
	商法Ⅳ	1前・後		2		1					
	税法 I	1前・後		2		1					
	税法Ⅱ	1前・後		2		1					
専	労働法 I ※	1前•後		2		1					
門	労働法Ⅱ※	1前・後		2		1					
科	経済法I	1前・後		2		1					
目	経済法Ⅱ	1前・後		2		1					
法律專	新技術と法 I ※	1前•後		2		1					
門職	新技術と法Ⅱ※	1前·後		2		1					
그	隣接法律職講義I	1前•後		2			1				1
ーット	隣接法律職講義Ⅱ	1前·後		2		1					1
\smile	市民生活と法	1前·後		2		1					
	法律専門職基礎	1前•後		2			1				
	南北 * * *										
	憲法 I ※	1前・後		2		1					
	憲法Ⅱ※	1前・後		2		1					
専	憲法皿※	1前・後		2			1				
門科	憲法Ⅳ※	1前•後		2			1				
目	刑法 I	1前・後		2		1					
(政策:	刑法Ⅱ	1前•後		2		1					
法務	刑法皿	1前•後		2			1				
ユニッ	刑法Ⅳ	1前・後		2			1				
)	刑事訴訟法I	1前•後		2			1				
	刑事訴訟法Ⅱ	1前•後		2			1				
	民事法概論	1前•後		2			1				

【今和	5	玍	亷	1
LTIMU	v	-	ᇨ	4

ا ا	う和5年度 <u>】</u>	配	È	单位数	女	車	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
	商法Ⅱ	次 1後	修	択 2	由	授 1	授	師	教	手	担
	商法Ⅲ	1前		2		1					
	商法Ⅳ	1後		2		1					
	税法I	1前		2		1					
	税法Ⅱ	1後		2		1					
専	労働法 I ※	1前		2		1					
門	労働法Ⅱ※	1後		2		1					
科	経済法 I	1前		2		1					
目	経済法 Ⅱ	1後		2		1					
法律	廃止										
専門職	廃止										
ュニ	隣接法律職講義I	1前		2			1				
ット	隣接法律職講義Ⅱ	1後		2		0					1
<u> </u>	市民生活と法(A)	2前		2		1					
	市民生活と法(B)	2後		2		1					
	市民生活と法(C)	2前		2		1					
	市民生活と法(D)	2後		2		1					
	法律専門職基礎	1前		2			1				
	憲法 I ※	1前		2		1					
	憲法Ⅱ※	1後		2		1					
専	憲法皿※	1前		2			1				
門科	憲法Ⅳ※	1後		2			1				
目	刑法 I	1前		2		1					
(政策法	刑法Ⅱ	1後		2		1					
務	刑法皿	1前		2			1				
ユニッ・	刑法Ⅳ	1後		2			1				
١)	刑事訴訟法 I	1前		2			1				
	刑事訴訟法Ⅱ	1後		2			1				
	民事法概論	1前		2			1				

	∂和4年度 】		í	单位数	\$tr	声	[任数	·昌笙	の配	置	兼
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	貝奇講	助助	助	任・
区分		年 次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	商法Ⅱ	1後		2		1					
	商法Ⅲ	1前		2		1					
	商法Ⅳ	1後		2		1					
	税法 I	1前		2		1					
	税法Ⅱ	1後		2		1					
専	労働法 I ※	1前		2		1					
門	労働法Ⅱ※	1後		2		1					
科目	経済法I	1前		2		1					
法	経済法Ⅱ	1後		2		1					
律 専 門	廃止										
職	廃止										
ユニッ	隣接法律職講義I	1前		2			1				
, ,	隣接法律職講義Ⅱ	1後		2		1					
	市民生活と法(A)	2前		2		1					
	市民生活と法(B)	2後		2		1					
	法律専門職基礎	1前		2			1				
	憲法 [※	1前		2		1					
	憲法Ⅱ※	1後		2		1					
専門	憲法皿※	1前		2			1				
科	憲法Ⅳ※	1後		2			1				
目	刑法 I	1前		2		1					
政策	刑法Ⅱ	1前		2		1					
法務	刑法皿	1前		2			1				
_ _ _ _ _	刑法Ⅳ	1後		2			1				
ット)	刑事訴訟法 I	1前		2			1				
	刑事訴訟法Ⅱ	1後		2			1				
	民事法概論	1前		2			1				

_ N	科目 地震対日の名称 配			単位数				日笙	の配	罟	兼
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
巨刀	X= TL \+ T	,	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	行政法 I	1前・後		2		1					
	行政法Ⅱ	1前・後		2		1					
	地方自治法I	1前・後		2		1					
	地方自治法Ⅱ	1前・後		2		1					
	労働法 I ※	1前・後		2		1					
	労働法Ⅱ※	1前・後		2		1					
	法思想史 I	1前・後		2		1					
専	法思想史Ⅱ	1前・後		2		1					
門	現代社会の課題と国際法 I	1前・後		2		1					
科	現代社会の課題と国際法Ⅱ	1前・後		2		1					
目(政	政治過程論※	1前・後		2		1					
策法務	政治行動論	1前•後		2		1					
ュ	行政学	1前•後		2		1					
ニット	地方自治論※	1前・後		2		1					
)	政治史 I	1前・後		2		1					
	政治史Ⅱ	1前•後		2		1					
	公共選択論 I	1前•後		2		1					
	公共選択論Ⅱ	1前•後		2		1					
	公共生活と法	1前•後		2		1					
	政策法務基礎	1前•後		2		1					
専	アジア経済論	1前•後		2		1					
門科目	経済モデル解析	1前•後		2		1					
(経済	経済政策デザイン	1前•後		2		1					
· 政	計量経済学	1前•後		2		1					
策分析						'	4				
ュニ	公共経済学	1前・後		2			1				
ニット	国際経済学	1前•後		2				1			
)	財政学	1前•後		2		1					
	ミクロ経済学	1前•後		2			1				

[4	和5年度】										
T-1 -		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	
	行政注「	1 台台		2		1					Г

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	・兼担
	行政法 I	1前	12	2	щ	1	-,^	ни	32		
	行政法Ⅱ	1後		2		1					
	地方自治法 I	1後		2		1					
	地方自治法Ⅱ	1後		2		1					
	労働法 I ※	1前		2		1					
	労働法Ⅱ※	1後		2		1					
	法思想史 I	1前		2		1					
専	法思想史Ⅱ	1後		2		1					
門	現代社会の課題と国際法I	1前		2		1					
科目	現代社会の課題と国際法Ⅱ	1後		2		1					
へ 政	政治過程論※	1前		2		1					
策法務	政治行動論	1後		2		1					
ュニ	行政学	1前		2		1					
ット	地方自治論※	1後		2		1					
	政治史 I	1前		2		1					
	政治史 Ⅱ	1後		2		1					
	公共選択論 I	1前		2		1					
	公共選択論Ⅱ	1後		2		1					
	公共生活と法(A)	2前		2		1					
	公共生活と法(B)	2後		2		1					
	政策法務基礎	1前		2		1					
専門	アジア経済論	1前		2		1					
科目	経済モデル解析	1後		2		1					
経済	経済政策デザイン	1前		2		1					
政策	計量経済学	1前		2		1					
分析	公共経済学	1後		2			1				
ユニッ	国際経済学	1後		2				1			
, ,	財政学	1後		2		1					
	ミクロ経済学	1前		2			1				
-							•		•		

科目	和4年度】	配当		单位数					の配		兼 任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	行政法 I	1前	修	. 投	由	<u>授</u>	授	師	教	手	担
	行政法Ⅱ	1後		2		1					
	地方自治法 I	1後		2		1					
	地方自治法Ⅱ	1後		2		1					
	労働法 I ※	1前		2		1					
	労働法Ⅱ※	1後		2		1					
専	法思想史 I	1前		2		1					
門	法思想史Ⅱ	1後		2		1					
科目	現代社会の課題と国際法I	1前		2		1					
政	現代社会の課題と国際法Ⅱ	1後		2		1					
策法務	政治過程論※	1前		2		1					
ュニ	政治行動論	1後		2		1					
ット	行政学	1前		2		1					
) 科	地方自治論※	1後		2		1					
目	政治史 I	1前		2		1					
	政治史Ⅱ	1後		2		1					
	公共選択論I	1前		2		1					
	公共選択論Ⅱ	1後		2		1					
	公共生活と法(A)	2前		2		1					
	公共生活と法(B)	2後		2		1					
	政策法務基礎	1前		2		1					
専門	アジア経済論	1前		2		1					
科目(経済モデル解析	1後		2		1					
· 経済	経済政策デザイン	1前		2		1					
• 政策	計量経済学	1前		2		1					
分析	公共経済学	1後		2			1				
ュニ	国際経済学	1後		2				1			
ット	財政学	1後		2		1					
)	ミクロ経済学	1前		2			1				

【認可時又は届出時】 単位数 専任教員等の配置 *任・兼担 科目 区分 配当年次 准 教 授 授業科目の名称 政治過程論※ 1前・後 2 専門科目(経済・政策分析 戦略と情報の経済学 1前・後 2 1 地方自治論※ 1前•後 2 1 統計学 2 1前•後 1 福祉経済論 1前•後 2 1 ポリティカル・エコノミー 2 1 1前・後 ユニット 地方財政論 1前・後 2 2 数理経済学 1前・後 2 1 マクロ経済学 1前・後 2 1 経営管理論 1前・後 2 経営戦略論 2 1前•後 1 雇用関係論 1前・後 2 1 イノベーション論 1前・後 2 1 国際経営論 1前•後 2 1 経営史 1前•後 2 1 経営組織論 1前・後 2 1 専門科目 企業の社会的責任論 1前・後 2 国際マーケテインング論 1前・後 2 1 (ビジネス ユニット マーケティングサイエンス 1前・後 2 1 1前•後 流通論 2 1 保険システム論 1前•後 2 1 監査論 1前・後 2 1 金融会計論 2 1前•後 管理会計論 1前•後 2 1 財務会計論 1前・後 2 1 原価計算論 1前•後 2 1 期待と金融政策 1前•後 2 1 地域金融論 1前•後 2 1 会計学原理 1前•後 2

科目	177 177 177 177	配当		单位数			任教				身
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	田町	教授	准教授	講師	助教	助手	3
	政治過程論※	1前	195	2	Щ	1	1X	ווים	- 4X	. .	
専門科	戦略と情報の経済学	1前		2			1				
科目(地方自治論※	1後		2		1					
経 済 •	統計学※	1後		2		1					
政策	福祉経済論	1前		2		1					
分 析	ポリティカル・エコノミー	1前		2		1					
ユニッ	地方財政論	1後		2		2					
<u>-</u> ا	数理経済学	1後		2							
	マクロ経済学	1前		2		1					
	経営管理論	1前		2			1				
	経営戦略論	1前		2			1				
	雇用関係論	1前		2		1					
	イノベーション論	1前		2			0				
	国際経営論	1後		2			1				
	経営史	1前		2		1					
	経営組織論	1後		2			1				
専門	企業の社会的責任論	1前		2			1				
科目	国際マーケテインング論	1後		2			1				
(ビジネス	マーケティングサイエンス			2				1			
ネス	流通論	1後		2			1				
ユニッ	保険論	1後		2		1	Ċ				
ット)											
	監査論	1後		2		1					
	金融会計論	1前		2			1				
	管理会計論	1後		2		1					
	財務会計論	1前		2		1					
	原価計算論	1後		2		1					
	期待と金融政策	1後		2			1				
	地域金融論	1前		2			1				
	会計学原理	1前		2		1					

	和4年度】		i	单位数	th the	甫	仁劫	·吕笙	の配	罟	兼
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区万		+ 1/2	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	政治過程論※	1前		2		1					
専門科	戦略と情報の経済学	1前		2			1				
目(地方自治論※	1後		2		1					
経済・	統計学※	1後		2		1					
政策	福祉経済論	1前		2		1					
分析	ポリティカル・エコノミー	1前		2		1					
ユニッ	地方財政論	1後		2		2					
, ,	数理経済学	1後		2							1
	マクロ経済学	1前		2		1					
	経営管理論	1前		2			1				
	経営戦略論	1前		2			1				
	雇用関係論	1前		2		1					
	イノベーション論	1後		2			1				
	国際経営論	1後		2			1				
	経営史	1前		2		1					
	経営組織論	1後		2			1				
専門科	企業の社会的責任論	1前		2			1				
目(ビ	国際マーケテインング論	1後		2			1				
ジネス	マーケティングサイエンス	1前		2				1			
	流通論	1後		2			1				
ユニット	保険論	1後		2		1					
Ü	監査論	1後		2		1					
	金融会計論	1後		2			1				
	管理会計論	1後		2		1					
	財務会計論	1前		2		1					
	原価計算論	1後		2		1					
	期待と金融政策	1後		2			1				
	地域金融論	1前		2			1				
	会計学原理	1前		2		1					

L	図可時又は届出E	寺】	2	单位数	έtτ	声	红 野	·吕华	の配	罟	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	単位第	自	教	准	貝寺講	助助	助	任・
区分		年次	修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼 担
	サービス・マネジメント論	1前・後		2		1					
専門科	地域活性化とビジネス	1前・後		2		1					
目 (商品学	1前・後		2		1					
観 光 •	地域魅力学	1前・後		2		1					
地域戦	多文化共生地域論	1前・後		2			1				
略	観光デザイン	1前・後		2			1				
ユニッ	観光人類学	1前・後		2			1				
۲)	都市•交通計画論※	1前・後		2		1					
	観光情報学論	1前・後		2		1					
	持続共生社会創成論	1前・後		2		12	1				
	人間形成論	1前・後		2		1					
	グローバル共生社会論	1前·後		2		1					
専門	幸福論	1前・後		2			1				
科目	UD(ユニバーサルデザイン)開発論	1前・後		2		1					
(持 続	技術支援実装論	1前・後		2		1					
共生社	教育システムデザイン論※	1前・後		2		1					
会創成	言語支援論	1前・後		2		1					
ベコー	多文化理解論	1前・後		2		1					
ット	国際社会とジェンダー論※	1前・後		2		1					
)	異文化間コミュニケーション論	1前・後		2		1					
	地域福祉論	1前・後		2		1					
	非営利組織論	1前・後		2		1					
	地域子育て若者支援論	1前・後		2		1					
専門	チャイルド・サイエンス概論	1前・後		2		5	3				
科目(エコロジカル発達科学	1前•後		2		2					
(子ども学	身体運動発達論	1前•後		2		2					
	保育・子育で実践政策学	1前•後		2			1				1
ユニッ	子ども環境保健学	1前•後		2			1				
٦)	子ども学実践データ演習	1前•後		2							1

	<u>予和5年度】</u>	配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	サービス・マネジメント論	1前	修	. 投	由	<u>授</u>	授	師	教	手	担
専門	地域活性化とビジネス	1後		2		1					
科目(商品学	1前		2		1					
観光	地域魅力学	1後		2		1					
地域	廃止										
戦 略	観光デザイン	1後		2			1				
ユニッ	観光人類学	1前		2			1				
۲	都市·交通計画論※	1後		2		0					1
	観光情報学論	1後		2		1					
	持続共生社会創成論	1前		2		12	0				
	人間形成論	1後		2		1					
	グローバル共生社会論	1後		2		1					
	<mark>幸福論</mark>	1後		2		1	0				
専門科品	UD(ユニバーサルデザイン)開発論	1前		2		1					
目(持続	技術支援実装論	1後		2		1					
共 生	教育システムデザイン論※	1後		2		1					
社会創	言語支援論	1前		2		1					
成 ユ	多文化理解論	1後		2		1					
ニット	国際社会とジェンダー論※	1前		2		1					
\smile	異文化間コミュニケーション論	1前		2		1					
	地域福祉論	1後		2		1					
	非営利組織論	1後		2		1					
	地域子育て若者支援論	1前		2		1					
専門	チャイルド・サイエンス概論	<mark>1前</mark>		2		5	3				
科目	エコロジカル発達科学			2		2					
(子ども学	身体運動発達論	1前		2		2					
	保育・子育て実践政策学	1後		2			1				1
ユニッ	子ども環境保健学	1後		2			1				
۲)	子ども学実践データ演習	1前		2							1

科目	極楽却日本 2 7	配当		单位数					の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自由	教	准教	講師	助数	助	· 兼 担
	サービス・マネジメント論	1前	修	2	由	<u>授</u>	授	師	教	手	坦
専門	地域活性化とビジネス	1後		2		1					
科目(商品学	1前		2		1					
観光・	地域魅力学	1後		2		1					
地域	廃止										
戦 略	観光デザイン	1後		2			1				
ユニッ	観光人類学	1前		2			1				
ا (都市•交通計画論※	1後		2		1					
	観光情報学論	1後		2		1					
	持続共生社会創成論	1前		2		12	1				
	人間形成論	1後		2		1					
	グローバル共生社会論	1後		2		1					
専門	幸福論	1後		2			1				
科目(は	UD(ユニパーサルデザイン)開発論	1前		2		1					
持続共	技術支援実装論	1後		2		1					
生社会	教育システムデザイン論※	1後		2		1					
会創成	言語支援論	1前		2		1					
ュニ	多文化理解論	1後		2		1					
ット)	国際社会とジェンダー論※	1前		2		1					
_	異文化間コミュニケーション論	1前		2		1					
	地域福祉論	1後		2		1					
	非営利組織論	1後		2		1					
専	地域子育て若者支援論	1前		2		1					
門科	チャイルド・サイエンス概論	1前		2		6	3				
日(子	エコロジカル発達科学	1後		2		2					
(子ども学	身体運動発達論	1前		2		2					
	保育・子育て実践政策学	1後		2			1				1
ユニット	子ども環境保健学	1後		2			1				
$\overline{}$	子ども学実践データ演習	1前		2							1

	図可時又は届出	47	Ĺ	单位数	汝	車	任教	員等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	ダイバーシティ&インク	1前・後	修	択 2	由	授	教 授 1	師	教	手	兼担
	ルージョン保育・教育論	1111712		2			1				
	子ども学フィールド演習	1前·後		2		1					1
	人文的実践知	1前•後		2		1	2				
	現代地域形成論※	1前·後		2		1					
	応用歴史学※	1前・後		2			1				
	実践知の哲学	1前•後		2			1				
	言語生態論	1前・後		2		1					
専	近代小説・批評論	1前・後		2			1				
門科	文字文化論	1前・後		2		1					
目(人	漢文資料研究	1前・後		2			1				
文的	物語文学解釈論	1前·後		2			1				
実践知	文化人類学	1前•後		2			1				
ュニ	アジア社会論	1前·後		2		1					
ット	台湾論	1前•後		2		1					
0	国際社会とジェンダー論※	1前・後		2		1					
	応用倫理学	1前・後		2			1				
	高等教育論	1前・後		2		1					
	Globalization of higher education sector	1前•後		2		1					
	Language and communicative issues in the age of globalization	1前•後		2			3				
	リスクコミュニケーション論	1前•後		2				1			
専門科	危機管理学	1前・後		2		1					
目 (行政・企業・医療のリスクマネジメント	1前・後		2		1					
危機管理学	防災·危機管理実習 I	1前•後		1		1					
	防災・危機管理実習Ⅱ	1前•後		1		1					
ユニット)	災害と健康管理・メン タルヘルスケア	1前・後		2							2
	災害心理学	1前•後		2							5

<u> [</u>	↑和5年度 】	配	ì	单位数	itr	#	任教	日生	の起	罟	兼
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
277		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
	ダイバーシティ&インク ルージョン保育・教育論 子ども学フィールド演習	1前		2		1	1				1
	人文的実践知	1前		2		2	1				
	現代地域形成論※	1後		2		1					
	応用歴史学※	1前		2			1				
	実践知の哲学	1前		2		1					
	言語生態論	1前		2		1					
専	近代小説・批評論	1前		2			1				
門科目	文字文化論	1後		2		1					
1(人文	漢文資料研究	1前		2			1				
的実	物語文学解釈論	1後		2			1				
践知	文化人類学	1前		2			1				
ユニッ	アジア社会論	1後		2		1					
۴	台湾論	1前		2		0					1
)	国際社会とジェンダー論※	1前		2		1					
	応用倫理学	1前		2		1	0				
	廃止										
	Plastics, marine garbage, and the environment	1前		2		1					
	Language and communicative issues in the age of globalization	1前		2			3				
*	リスクコミュニケーション論	1前		2				1			
専門科	危機管理学	1前		2		1					
目(危機	行政・企業・医療のリ スクマネジメント	1後		2		1					
機管理学	防災・危機管理実習	1後		1		1					
ユニ	行政·企業防災· 危機管理実務演 習	1後		1		1					
ット)	災害と健康管理・ メンタルヘルスケ ア	1後		2							2
	災害心理学	1後		2							5

科目	和4年度】	配出	配当年次 単位数 周 単位数					の配		兼 任	
区分	授業科目の名称		必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
	ダイバーシティ&インク ルージョン保育・教育論	1後		2			1				
	子ども学フィールド演習	1後		2		2					1
	人文的実践知	1前		2		1	2				
	現代地域形成論※	1後		2		1					
	応用歴史学※	1前		2			1				
	実践知の哲学	1前		2		1					
	言語生態論	1前		2		1					
専	近代小説・批評論	1前		2			1				
門科目	文字文化論	1後		2		1					
八人文	漢文資料研究	1前		2			1				
的実	物語文学解釈論	1後		2			1				
践 知	文化人類学	1前		2			1				
ユニッ	アジア社会論	1後		2		1					
\	台湾論	1前		2		1					
	国際社会とジェンダー論※	1前		2		1					
	応用倫理学	1前		2			1				
	廃止										
	Globalization of higher education sector	1前		2		1					
	Language and communicative issues in the age of globalization	1前		2			3				
	リスクコミュニケーション論	1前		2				1			
専門科	危機管理学	1前		2		1					
目(危機	行政・企業・医療のリ スクマネジメント	1後		2		1					
機管理学	防災・危機管理実習	1後		1		1					
学 ユニッ	行政·企業防災· 危機管理実務演 習	1後		1		1					
ツト)	災害と健康管理・ メンタルヘルスケ ア	1後		2							2
	災害心理学	1後		2							5

科目 地名 日本											兼
科目 区分	授業科目の名称	配 当年次									任・兼
	犯罪心理学特論	1前	修	択 2	由	授	·授	師	教	手	担
	データサイエンスによる危機管理学	1前•後		2			1				
専	気候変動論※	1前・後		2		1					
門科	リスクの科学的予測情報の活用	1前・後		2		1					
目(危	「生活」に関するリスク	1前・後		2		1					
機管理	リスク管理と法	1前・後		2		1					
学	情報セキュリティ失敗学※	1前・後		2			1				
ユニッ	空間情報工学※	1前•後		2		1					
١)	防災工学※	1前・後		2			1				
	システム信頼性工学※	1前•後		2		1					
	水圏環境学※	1前・後		2		1					
	レジリエントな地域づくりのデザイン	1前·後		2		1					
	環境デザイン論	1前•後		2		6	1	1			
	空間情報工学※	1前•後		2		1					
専門が	数値解析論※	1前•後		2		1					
科目()	応用歴史学※	1前•後		2			1				
循環型	地中海環境史論	1前•後		2			1				
環境デ	現代地域形成論※	1前•後		2		1					
ザイン	公共•環境経済学※	1前・後		2				1			
ュ	気候変動論※	1前・後		2		1					
ニット)	流域管理学	1前・後		2		1					
)	河川•水循環論	1前•後		2		1					
	環境基盤科学	1前•後		2		1			1		
	水圏環境学※	1前・後		2		1					
	エクスペリエンスデザイン&アート論	1前・後		2		9	5	3	1		
	デザイン思考論	1前・後		1		5	2	2	1		
	ブロジェクトベーストラーニング										
	対話デザイン論 1前・後 2 1										
	システム工学論	1前•後		2			1				

	予和5年度 <u>】</u> ┃	配	<u>í</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
	犯罪心理学特論	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	化非心垤于特酬	1前		2			1				
	データサイエンスによ る危機管理学	1前		2			1				
専	気候変動論※	1前		2		1					
門科	リスクの科学的予測情報の活用	1前		2		1					
目(危	「生活」に関するリスク	1前		2		1					
機管理	リスク管理と法	1後		2		1					
学	情報セキュリティ失敗学※	1前		2			1				
ユニッ	空間情報工学※	1前		2		1					
١ ن	防災工学※	1後		2			1				
	システム信頼性工学※	1後		2		1					
	水圏環境学※	1前		2		1					
	レジリエントな地域づくりのデザイン	1前		2		1					
	環境デザイン論	1通		2		7	2				
	空間情報工学※	1前		2		1					
専門	数値解析論※	1前		2		1					
科目	応用歴史学※	1前		2			1				
(循環型	地中海環境史論	1後		2			1				
一 環 境	現代地域形成論※	1後		2		1					
デザイ	公共•環境経済学※	1後		2				1			
ンュ	気候変動論※	1前		2		1					
ニット	流域管理学	1後		2		1					
\smile	河川•水循環論	1前		2		1					
	環境基盤科学	1前		2		1			1		
	水圏環境学※	1前		2		1					
	エクスペリエンスデザイン&アート論	1前		2		8	4	2	1		1
	デザイン思考論	1後		1		3	4	1	1		
	プロジェクトベーストラーニング	1 24		0		0	0	1	4		
		1前		2		3	3		1		
	対話デザイン論	1後		2		1					
	システム工学論	前集中		2			1			<u> </u>	

[4	う和 4 年度】 		ì	单位数	\$ †	車	.任数	·昌等	の配	置	兼
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・
	犯罪心理学特論	1前	修	<u>択</u>	由	授	· 授	師	教	手	兼担
	データサイエンスによ る危機管理学	1前		2			1				
	気候変動論※	1前		2		1					
専門	リスクの科学的予測情報の活用	1前		2		1					
科目(「生活」に関するリスク	1前		2		1					
危機管	リスク管理と法	1後		2		1					
理学	情報セキュリティ失敗学※	1前		2			1				
그 =	空間情報工学※	1前		2		1					
ッ ト)	防災工学※	1後		2			1				
	システム信頼性工学※	1後		2		1					
	水圏環境学※	1前		2		1					
	レジリエントな地域づくりのデザイン	1前		2		1					
	環境デザイン論	1前		2		7	2				
	空間情報工学※	1前		2		1					
専門	数值解析論※	1前		2		1					
科目(年	応用歴史学※	1前		2			1				
循環型	地中海環境史論	1後		2			1				
環境デ	現代地域形成論※	1後		2		1					
ザイン	公共•環境経済学※	1後		2				1			
ュ	気候変動論※	1前		2		1					
ット)	流域管理学	1後		2		1					
	河川•水循環論	1前		2		1					
	環境基盤科学	1前		2		1			1		
	水圏環境学※	1前		2		1					
	エクスペリエンスデザイン&アート論	1前		2		9	5	2	1		1
	デザイン思考論	1後		1		4	4	1	1		
	プロジェクトベーストラーニング	1前		2		4	3	1	1		
	対話デザイン論	1後		2		1					
	システム工学論	前集中		2			1				

	図可時又は届出日		- 単位数 専任教員等の 画						の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准 教授	講師	助教	助手	兼担
	シミュレーションデザイン論	1前·後	1195	2	ш	fΧ	fΧ	1	拟	7	ᄺ
	コンピュテーショナルデザイン特論	1前·後		2		1	1				
	教育システムデザイン論※	1前・後		2		1					
	応用最適化デザイン論	1前•後		2		1					
専	商品企画とビジネス展開論	1前•後		2		1	1	1			
門科	コミュニティコンピューティング	1前・後		2			1	1			
目(H	サービスデザイン特論	1前・後		2		1					
クスペ	DX時代のLeanStartup特論	1前・後		2			1				
ヘリェ	メディア文化論	1前•後		2				1			
ンスデ	地域芸術論	1前・後		2		4	1	1			2
ザイ	アート表現(Vocal)	1前•後		2		1					
ン&アー	社会構造リスクからの 事業デザイン論	1前・後		2		1		1			
۲ ا	アート表現(ペインティング)	1前・後		2		1					
ニッ	アート表現(クラフト)	1前•後		2		1					
۲)	音楽アナリーゼ論	1前•後		2							1
	器楽(ピアノ演習)	1前・後		2			1				
	アート表現(器楽)	1前•後		2		1					
	アート表現(ビジュアルデザイン)	1前・後		2		1					
导	ポジティブコンピューティング	1前•後		2			1		1		
門科目(インフラ・アセットマネジ メント特論 I -理論-	1前•後		2		3	2	2			
インフラア	インフラ・アセットマネジ メント特論 II -実践-	1前・後		2		3	2	2			
セッ	機械学習の理論と実践※	1前・後		2			1				
トマネ゛	数値解析論※	1前・後		2		1					
ジメント	i-Costructionシステム 学 -新技術・新工法・新 材料-※	1前・後		2		1	2	1			
ユニッ	リスクベース・アプローチ論	1前・後		2			1	1			
<u>+</u>)	気候変動論※	1前•後		2		1					

	<u>↑和5年度】</u> │	配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	シミュレーションデザイン論	1後	修	択 2	由	授	授	師 1	教	手	担
	. .			_							
	廃止										
	教育システムデザイン論※	1後		2		1					
	応用最適化デザイン論	1前		2		0					•
	商品企画とビジネス展開論	1前		2		1	1	0			
専門が	コミュニティコンピューティング			2			1				
科目(サービスデザイン論	1後		2		1					
エクス	DX時代のLeanStartup論	1前		2			1				
ペリ	メディア文化論	1前		2				1			
エンフ	<mark>地域芸術論</mark>	1前		2		4	0	1			-
スデザイ	アート表現(Vocal)	1前		2		1					
ン & ア	社会構造リスクからの 事業デザイン論	1前		2		1		0			
 -	アート表現(ペインティング)	1前		2		1					
ュ ニ	アート表現(クラフト)	休講		2		1					
ット)	音楽アナリーゼ論	1前		2		'					
	アート表現(鍵盤楽器)	休講		2			0				
	アート表現(器楽)	1後		2		1					
	アート表現(ビジュアルデザイン)	1前		2			1				
	ポジティブコンピューティング	1後		2			1		1		
导門 科 目	インフラ・アセットマネジ メント特論 I -理論-	1前		2		3	4		'		
(インフラ	インフラ・アセットマネジ メント特論 II -実践-	1集中		2		3	4				
アセッ	機械学習の理論と実践※	1前		2			1				
トマネ	数値解析論※	1前		2		1					
ジメント	i-Costructionシステム 学 -新技術・新工法・新 材料-※	1前		2		1	3				
ュニ	リスクベース・アプローチ論	1前		2			2				
ッ											

	∂和4年度 】		į	单位数	女	専	任教]員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼
	シミュレーションデザイン論	1後	修	択 2	由	授	授	師 1	教	手	担
	廃止										
	教育システムデザイン論※	1後		2		1					
	応用最適化デザイン論	前集中		2		1					
	商品企画とビジネス展開論	前集中		2		2	1	0			
専門科	コミュニティコンピューティング	1後		2			1				
目 (H	サービスデザイン論	1後		2		1					
ークスペ	DX時代のLeanStartup論	前集中		2			1				
リエ	メディア文化論	1前		2				1			
ンスデ	地域芸術論	1前		2		4	1	1			2
ザイン	アート表現(Vocal)	1前		2		1					
& ア 	社会構造リスクからの事業デザイン論	1前		2		1		0			
トュ	アート表現(ペインティング)	1前		2		1					
ユニット	アート表現(クラフト)	休講		2		1					
·	音楽アナリーゼ論	1前		2							1
	アート表現(鍵盤楽器)	1前		2			1				
	アート表現(器楽)	1後		2		1					
	アート表現(ビジュアルデザイン)	休講		2		1					
导	ポジティブコンピューティング	1後		2			1		1		
門科目(インフラ・アセットマネジ メント特論 I -理論-	1前		2		3	4				
(インフラア	インフラ・アセットマネジ メント特論 II -実践-	1集中		2		3	4				
セッ	機械学習の理論と実践※	1前		2			1				
トマネジ	数値解析論※	1前		2		1					
ジメント	i-Costructionシステム 学 -新技術・新工法・新 材料-※	1前		2		1	3				
ユニッ	リスクベース・アプローチ論	1前		2			2				
۱ ۱	気候変動論※	1前		2		1					

	図可時又は届出B ┃	寺】	è	单位数	it .	声	[4 数	·昌笙	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	貝奇講	助	助	任・
区分	12.41.10.11	年次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
	構造信頼性工学※	1前・後		2			2				
	地盤リスクマネジメント論	1前・後		2		1					
	公共·環境経済学※	1前・後		2				1			
	電子機能材料物性※			2		1					
専門科品	光機能材料物性	1前・後		2		1					
日(光	光・電子材料プロセス工学	1前•後		2		1					
量子	光·量子材料評価学※	1前•後		2			1				
材料科	応用量子力学※	1前•後		2		1			1		
学ュ	表面電子構造論	1前•後		2		1					
ニット	持続可能無機材料※	1前・後		2		1					
Ċ	材料合成学※	1前・後		2		1					
	光波応用工学※	1前•後		2		1					
専	生命材料科学	1前•後		2		1					
門科目	持続可能無機材料※	1前•後		2		1					
機能	計算機材料デザイン	1前•後		2		1					
性材料	分子機能工学持論	1前•後		2		1					
化学	機能性ナノ材料	1前•後		2		1					
ユニッ	分子デザイン戦略	1前•後		2			1				
١	応用量子力学※	1前•後		2		1			1		
	材料合成学※	1前•後		2		1					
専	構造機能制御※	1前•後		2		1		1			
門科目	微細構造解析	1前•後		2		1					
横造	材料合成学※	1前•後		2		1					
材料科	金属強度・転位論※	1前•後		2		1					
学	新世代構造材料※	1前•後		2				1			
ユニッ	持続可能無機材料※	1前•後		2		1					
١	電子機能材料物性※	1前•後		2		1					
	機械信頼性※	1前•後		2		1					

<u>[</u>	內和5年度 】										
		配		单位数		_			の配		兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	
		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	構造信頼性工学※	1後		2			2				
	地盤リスクマネジメント論	1後		2		1					
	公共•環境経済学※	1後		2			1				
	電子機能材料物性※	1前		2		1					
専門科	光機能材料物性	1前		2		1					
日(光	光・電子材料プロセス工学	1後		2		1					
· 量 子	光•量子材料評価学※	1後		2		1	0				
→ 材料料	応用量子力学※	1前		2		1			1		
学	表面電子構造論	1後		2		1					
ユニッ・	持続可能無機材料※	1前		2		1					
١)	材料合成学※	1前		2		1					
	光波応用工学※	1前		2		1					
専	生命材料科学	1後		2		1					
門科目	持続可能無機材料※	1前		2		1					
機能	計算機材料デザイン	1前		2		1					
甘材料	分子機能工学持論	1前		2		1					
化学	機能性ナノ材料	1前		2		1					
ユニッ	分子デザイン戦略	1後		2		1	0				
)	応用量子力学※	1前		2		1			1		
	材料合成学※	1前		2		1					
専	構造機能制御	1後		2		1					
門科目	微細構造解析	1前		2		1					
日(構造	材料合成学※	1前		2		1					
材 料	金属強度・転位論※	1後		2		1					
科学	新世代構造材料※	1後		2			1				
ユニッ	持続可能無機材料※	1前		2		1					
<u>۱</u>	電子機能材料物性※	1前		2		1					

科目	極帯が口でなれ	配当		単位数		-			の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
	構造信頼性工学※	1後	PS	2	П	XI	2	H11	. 74		, <u>;=</u>
	地盤リスクマネジメント論	1後		2		1					
	公共·環境経済学※	1後		2			1				
_	電子機能材料物性※	1前		2		1					
専門科[光機能材料物性	1前		2		1					
目(光	光・電子材料プロセス工学	1後		2		1					
· 量 子:	光·量子材料評価学※	1後		2			1				
材料科	応用量子力学※	1前		2		1			1		
学 ユ	表面電子構造論	1後		2		1					
ニット	持続可能無機材料※	1前		2		1					
<u> </u>	材料合成学※	1前		2		1					
	光波応用工学※	1前		2		1					
専	生命材料科学	1後		2		1					
門科目	持続可能無機材料※	1前		2		1					
(機能性	計算機材料デザイン	1前		2		1					
性材料化	分子機能工学持論	1前		2		1					
化学	機能性ナノ材料	1前		2		1					
ユニッ-	分子デザイン戦略	1後		2		1	0				
۲)	応用量子力学※	1前		2		1			1		
	材料合成学※	1前		2		1					
専	構造機能制御	1後		2		1					
門科目	微細構造解析	1前		2		1					
I(構造	材料合成学※	1前		2		1					
材料科	金属強度・転位論※	1後		2		1					
学	新世代構造材料※	1後		2			1				
ユニッ・	持続可能無機材料※	1前		2		1					
١ ن	電子機能材料物性※	1前		2		1					
	機械信頼性※	1前		2		1	1				

「認可時又は届出時】

	の可時又は届出	寺】		× 11 ··		_	. 4.				兼
科目	極紫되므죠요뫄	配当	必必	単位数 選	自	教	任教 准	損等 講	の配助	置助	任
区分	授業科目の名称	年次					教				兼
	マイクロセンシングデバイス工学※	1前・後	修	択 2	由	<u>授</u>	授	師	教	手	担
		1月171天									
	連続体力学※	1前・後		2			1				
	センサイノベーション工学	1前・後		2		1			1		
専門	応用光学論	. ** **		,							
科	心用儿子酬	1前・後		2		1					
目 (マイクロセンシングデバイス工学※	1前・後		2		1					
計測											
シス	マイクロ流体工学※	1前・後		2			1				
Ŧ	環境エネルギー変換工学※	1前・後		2		1					
エ	東売上1701 女庆上于A	1111 12				'					
学	認知情報学※	1前・後		2			1				
ュ -											
ニッ	バイオメカニクス※	1前・後		2				1			
/	回路デザイン演習※	1前.4		0		4					
	凹路ナザイン演音祭	1前・後		2		1					
	光•量子材料評価学※	1前・後		2			1				
	医用応用工学	1前・後		2		1					
専	> > 15>>->										
門科	マシンビジョン	1前・後		2		1					
目(知能移動ロボット学※	1前・後		2		1					
知				_		•					
能口	生体応用メカトロニクス	1前・後		2		1					
ボテ											
ィク	アドバンスドアクチュエータ※	1前・後		2		1					
え	認知情報学※	1前・後		2			1				
ı	113 114 2 714			_			•				
ニッ	バイオメカニクス※	1前・後		2				1			
١											
)	サイバー・フィジカル・メディア	1前・後		2			1				
	環境エネルギー変換工学※	1前・後		2		1					
専											
門科	機械信頼性※	1前·後		2			1				
目 (白新市津新州(401-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-			_							
機械	自動車運動制御論	1前·後		2		1					
エ	感性情報処理	1前・後		2				1			
学基											
盤											
<u>а</u>	本体化工学 业	بد.		_							
ニッ	連続体力学※	1前・後		2			1				
١	金属強度・転位論※	1前・後		2		1					
	нич / 1.			_							
	知能移動ロボット学※	1前·後		2		1					

[4	介和	5	年	度

	が行う十尺』		ì	单位数	tt .	甫	任教	吕笙	の記	署	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分	スポロソロが	年次	修		由	授	教授		教	手	兼担
	マイクロセンシングデバイス工学※	1前	廖	2	Н	1	扠	師	叙	+	担
	連続体力学※	1後		2			1				
	センサイノベーション工学	1前		2		1			0		
専											
門 科	応用光学論	1後		2		1					
目	マイクロセンシングデバイス工学※	1前		2		1					
計 測											
シス	マイクロ流体工学※	1前		2			1				
テ ム	環境エネルギー変換工学※	1後		2		1					
工 学		. ///									
ı	認知情報学※	1後		2			1				
ニッ	<mark>バイオメカニクス※</mark>	1後		2			1	0			
۱)	回路デザイン演習※	1前		2		1					
	四四アグリン演目が	ניפוי				'					
	光·量子材料評価学※	1後		2		1	0				
	医用応用工学	休講		2			1				
卓		PITAN		_			·				
明 斗	マシンビジョン	1前		2		1					
<u></u>	知能移動ロボット学※	1前		2		1					
印能											
こだ	生体応用メカトロニクス	1後		2		1					
ר	アドバンスドアクチュエータ※	1前		2		1					
フ ス											
1	認知情報学※	1後		2			1				
ニッ	バイオメカニクス※	1後		2			1	0			
, 											
	サイバー・フィジカル・メディア	1後		2			1				
	ヒューマン・コンピュータ・インタ ラクション	1後		2			1				
		- 46		_							
専	環境エネルギー変換工学※	1後		2		1					
門科	機械信頼性※	1前		2		0	2				
目	ᄼᇵᆂᄬᇎᇸᄱᄱᇲ	. 14									
機械	自動車運動制御論	1後		2		1					
工学	感性情報処理	1前		2				1			
· 基盤	自動車人間工学	1前		2				1			
	日初平八周工于	1 89		_				'			
ユニッ	連続体力学※	1後		2			1				
<u>ا</u>	金属強度・転位論※	1後		2		1					
-		100		_		'					
	知能移動ロボット学※	1前		2		1					

科目	恒米科ログなが	配当		単位数		_			の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
	マイクロセンシングデバイス工学※	1前		2		1					
	連続体力学※	1後		2			1				
	センサイノベーション工学	1前		2		1			0		
専門科	応用光学論	1後		2		1					
目分計	マイクロセンシングデバイス工学※	1前		2		1					
測シス	マイクロ流体工学※	1前		2			1				
テ ム エ	環境エネルギー変換工学※	1後		2		1					
学ュ	認知情報学※	1後		2			1				
ユニット	バイオメカニクス※	1後		2				1			
́г)	回路デザイン演習※	1前		2		1					
	光·量子材料評価学※	1後		2			1				
	医用応用工学	休講		2							
専門科	マシンビジョン	1前		2		1					
目(知	知能移動ロボット学※	1前		2		1					
能ロボ	生体応用メカトロニクス	1後		2		1					
・ティク	アドバンスドアクチュエータ※	1前		2		1					
ノスュ	認知情報学※	1後		2			1				
ユニット	バイオメカニクス※	1後		2				1			
<u>г</u>)	サイバー・フィジカル・メディア	1後		2			1				
±	環境エネルギー変換工学※	1後		2		1					
専門科品	機械信頼性※	1前		2		1	1				
目(機械	自動車運動制御論	1後		2		1					
械工学	感性情報処理	1前		2				1			
基盤	自動車人間工学	1前		2				1			
ユニッ	連続体力学※	1後		2			1				
\)	金属強度·転位論※	1後		2		1					
	知能移動ロボット学※	1前		2		1					L

【製可時又は届出時】

	図可時又は届出	寺】		× 11		_	. 11.		e =-	₩	兼
科目	100 May 21 - 2 - 2 - 2	配当		単位数					の配		兼 任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
	アドバンスドアクチュエータ※	1前・後		2		1					
専門科目	マイクロ流体工学※	1前・後		2			1				
機機	構造機能制御※	1前•後		2		1		1			
械工学基	新世代構造材料※	1前•後		2			1				
盤	気候変動論※	1前・後		2		1					
ユニット	新技術と法 I ※	1前・後		2		1					
\ \)	新技術と法Ⅱ※	1前・後		2		1					
	分散並列処理論	1前•後		2		1					
	プログラミング・パラダイム	1前•後		2			1				
専門科目	プログラミング言語意味論	1前・後		2			1				
情	ソフトウェア開発実践論	1前・後		2			1				
報シスト	ソフトウェアプロジェクトマネジメ ント論	1前・後		2		1					
テ ム •	ソフトウェアデザイン論※	1前•後		2		1					
セキュ	セキュリティ・インタフェース設計学	1前・後		2				1			
リ テ ィ	データ利活用ブラットフォーム演習	1前・後		2				1			
그 =	言語メディア処理論	1前•後		2		1					
ット)	情報セキュリティ失敗学※	1前•後		2			1				
	情報基盤システム設計論	1前・後		2				1			
	情報システム・セキュリティ・ セ [*] ミナール	1前•後		2		1					
専門科目(人工知能・情報通信 ネットワークゼミナール	1前・後		2		1			1		
人工知能	光波応用工学※	1前・後		2		1					
能・通信	回路デザイン演習※	1前・後		2		1					
ネット	非線形システム工学※	1前・後		2		2					
ワーク	医用情報科学	1前・後		2			1				
ュニッ	計算知能	1前•後		2			1				
, , ,	光電子工学・光ネットワーク工学	1前•後		2		1					

[4	∂和5年度 】	l	í	单位数	itr	#	任教	·吕笙	の配	罟	兼
	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助助	助	任
	223311237217	年次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	アドバンスドアクチュエータ※	1前	שיו	2	ш	1	JX	ни	70	,	1=
専門科目	マイクロ流体工学※	1前		2			1				
機機	削除										
械工学基	新世代構造材料※	1後		2			1				
盤	気候変動論※	1前		2		1					
ユニット	廃止			2							
<u> </u>	廃止			2							
	分散並列処理論	1前		2		1					
	プログラミング言語論— パラダイムと意味論	1後		2		1					
専門科目	廃止										
一(情	ソフトウェア開発実践論	1後		2			1				
報 シ ス	ソフトウェアプロジェクトマネジメ ント論	1後		2		1					
テ ム ・	ソフトウェアデザイン論※	1後		2		1					
セ キ ュ	セキュリティ・インタフェース設計学	1後		2				1			
リ テ ィ	データ利活用ブラットフォーム演習	1後		2			1				
그	言語メディア処理論	1前		2		1					
ユニット	情報セキュリティ失敗学※	1前		2			1				
	情報基盤システム設計論	1後		2				1			
	情報システム・セキュリティ・ セ [*] ミナール	1前		2		0	1	0			
専門が	1										
科目(人工知能・情報通信 ネットワークゼミナール	1後		2		1			0		
人工知能	光波応用工学※	1前		2		1					
· 通	回路デザイン演習※	1前		2		1					
信ネットー	非線形システム工学※	1前		2		2					
ワーク	医用情報科学	1後		2			1				
ュ ニ ッ	計算知能	1前		2			1				
, , ,	光電子工学・光ネットワークエ 学	1後		2		1					

[1	う和 4 年度】 		í	单位数	ikt	声	(4)	·昌笙	の配	置	兼
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
மற		干 次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
_	アドバンスドアクチュエータ※	1前		2		1					
専門科目	マイクロ流体工学※	1前		2			1				
機械	削除										
工学基	新世代構造材料※	1後		2			1				
盤	気候変動論※	1前		2		1					
ニット	廃止			2							
·	廃止			2							
	分散並列処理論	1前		2		1					
	プログラミング言語論― パラダイムと意味論	1後		2		1					
専門科目	廃止										
(情報、	ソフトウェア開発実践論	1後		2			1				
システィ	ソフトウェアプロジェクトマネジメント論	1後		2		1					
٠ ١	ソフトウェアデザイン論※	1後		2		1					
キュリ	セキュリティ・インタフェース設計学	1後		2				1			
Ť 1	データ利活用ブラットフォーム演習	1後		2			1				
ユニッ	言語メディア処理論	1前		2		1					
/)	情報セキュリティ失敗学※	1前		2			1				
	情報基盤システム設計論	1後		2				1			
声	情報システム・セキュリティ・セミナール	1前		2		1					
専門科目	人工知能・情報通信 ネットワークゼミナール	1後		2		1			1		
(人工知	光波応用工学※	1前		2		1					
知能・	回路デザイン演習※	1前		2		1					
通信ネッ	非線形システム工学※	1前		2		2					
ットワー	医用情報科学	1後		2			1				
 ク -	計算知能	1前		2			1				
ュニット	光電子工学・光ネットワーク工学	1後		2		1					
\smile											

- M	図可時又は届出8	च⊿	į	单位数	汝	車	任教]員等	の配	置	兼
科目	授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分		年 次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	無線通信ネットワーク信号処理	1前・後	沙	2	Д	1	1	l lib	77.]브
	コヒーレント光通信工学	1前•後		2				1			
	建築計画論	1後		2			1		1		
	7+ 6/7 1# >1 =0										
	建築構法論	1前		2				1	1		
専門	建築構造解析論	1前		2			1				
科	是 太阳是汧州 iiii	נימי		_			'				
目	建築材料学特論※	1前		2		1	2	1			
建											
築学											
	都市·交通計画論※	1後		2		1					
1 =	nt /// 24/ \										
ット	防災工学※	1後		2		1					
Ü	公共·環境経済学※	1後		2				1			
	公共	11久						'			
	構造信頼性工学※	1後		2			2				
	数理・データサイエンス論	1前•後		2		16	5				5
	ソフトウェアデザイン論※	1前・後		2		1					
	非線形システム工学※	1前•後		2		2					
	タアルバルング・ハーユー・ハ	T HIJ TIZ		_		_					
	ヒューマンインタフェース論	1前•後		2		1					
専											
門科	機械学習の理論と実践※	1前•後		2			1				
Ħ											
数	プログラミング実装論	1前・後		2		1					
理・	二人加卡甘林华华	, <u></u>									
デ	データ解析基礎数学	ⅡⅢ・後		2		1					
タ	応用統計学論	1前•後		2		1					
サ											
イエ											
ンス											
	データ解析論	1前-多		_							
그	ノ アガギヤリ 前冊	1前・後		2		1					
ット	整数論と現代の暗号理論	1前•後		2		1					
٠)											
	複素幾何学	1前•後		2			1				
	ネットワークデータ解析	1前・後		2			1				
	電子物性論	1前・後		2		1					
	物理·科学教育研究論	14. 4		_							١.
	797年"符子叙肖饼允諵	1前・後		2							1
				<u> </u>						l	

<u> </u>	育和 5 年度 <u>】</u> │	#7	È	单位数	女	車	任教	員等	の配	置	兼
	授業科目の名称	配当年	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	無線通信ネットワーク信号処理	1後		2		2	0				
	コヒーレント光通信工学	1後		2				1			
	コピーレントル巡旧工事	110						'			
	建築計画論	1後		2			1	1	0		
	建築構法論	1前		2				1	1		
専門科	建築構造解析論	1前		2			1				
目(建築学	i-Costructionシステム 学 -新技術・新工法・新 材料-※	1前		2		1	3				
	都市·交通計画論※	1後		2		0					1
ユニット	防災工学※	1後		2		1					
Ü	公共·環境経済学※	1後		2			1				
	構造信頼性工学※	1後		2			2				
	建築・都市空間解析論	1後		2				1			
	数理・データサイエンス論	1前		2		15	6				5
	ソフトウェアデザイン論※	1後		2		1					
	非線形システム工学※	1前		2		2					
_	ヒューマンインタフェース論	1後		2		1					
専門科目	機械学習の理論と実践※	1前		2			1				
口(数理	プログラミング実装論	1後		2		1					
・デー	データ解析基礎数学	1後		2		1					
- タサ	応用統計学論	1前		2		0					1
ッイエンス	統計学※	1後		2		1					
ュニ	廃止										
ット)	整数論と現代の暗号理論	1前		2		1					
	複素幾何学	1後		2			1				
	廃止										
	電子物性論	1前		2		1					
	物理・科学教育研究論	1後		2							1

利日		和业		单位数					の配		兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
	無線通信ネットワーク信号処理	1前・後		. 投	由	授 1	<u>授</u>	師	教	手	担
	コヒーレント光通信工学	1後		2				1			
	建築計画論	1後		2			1		1		
							'				
専	建築構法論	1前		2				1	1		
門科	建築構造解析論	1前		2			1				
目(建築学	i-Costructionシステム 学 -新技術・新工法・新 材料-※	1前		2		1	3				
子ュ	都市•交通計画論※	1後		2		1					
ニ ッ ト	防災工学※	1後		2		1					
Ċ	公共・環境経済学※	1後		2			1				
	構造信頼性工学※	1後		2			2				
	数理・データサイエンス論	1前		2		15	6				5
	ソフトウェアデザイン論※	1後		2		1					
	非線形システム工学※	1前		2		2					
+	ヒューマンインタフェース論	1後		2		1					
専門科目	機械学習の理論と実践※	1前		2			1				
数理	プログラミング実装論	1後		2		1					
・ デ	データ解析基礎数学	1後		2		1					
 タサ	応用統計学論	1前		2		1					
イエン	統計学※	1後		2		1					
スユ	廃止										
ユニット	整数論と現代の暗号理論	1前		2		1					
·	複素幾何学	1後		2			1				
	ネットワークデータ解析	1前		2			1				
	電子物性論	1前		2		1					
	物理•科学教育研究論	1後		2							1
	11 7 JA D 9170 mm	- 区		_							l '

(i	図可時又は届出	寺】									
			È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	山	教	准教	講	助	助	•
			修	択	由	授	授	師	教	手	兼 担
	有機化学論	1前・後		2		1					
	生物化学論	1前・後		2		1					
	動物社会学論	1前・後		2		1					
	植物多様性解析論	1前・後		2			1				
	気候変動論※	1前・後		2		1					
	天体データ論	1前•後		2							1
	データ・メディア認知論	1前•後		2		1					
	科学と人間・社会	1前•後		2		2	1				
	システム信頼性工学※	1前·後		2		1					
	ヒューマンケアシステム論	1前·後		2							3
	小計(265科目)	-									
海外特	海外特別研修I	1・2 前・後			4	1	1				
別研修	海外特別研修Ⅱ	1・2 前・後			2	1	1				
	小計(2科目)										
特別	特別研究 I	1通年	4			115	53	12			
研究	特別研究Ⅱ	2通年	4			115	53	12			
L	小計(2科目)										
_ 1	合計(281 科目)	-									

卒業要件及び履修方法

※授業科目表に記載した科目中、末尾に「※」のある科目は、重複のある科目を示す。(小計及び合計においては、1科目として計上している) 共通科目から8単位(必修6単位、選択2単位)、専門科目から16単位(所属するユニットから12単位、その他のユニットから4単位)、特別研究 I・II から各4単位(計8単位)の合計32単位以上を修得すること。

さらに、修士論文もしくは特定課題についての研究の成果(☆)を提出し、その審査 及び最終試験に合格すること。

- ☆歌唱や器楽曲などの実技や下記に示す作品
- 建築作品
- ・知的財産として登録済みの意匠
- ・特許(公開特許を含む)が採用された商品
- ・テレビ・ラジオなどにより放送された作品 ・劇場などで一般公開された作品(音楽作品や映像作品等) ・公募展の入選作品

- ・企画展の招へい作品 ・展覧会の企画・キュレーション・企画執行にかかわった商品

	<u> </u>										
		配	Ė	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	授業科目の名称	当年	必	選	由	教	准	講	助	助	
		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	有機化学論	前集中		2		1				-	
	 生物化学論	1後		2		1					
		1 100				'					
	動物社会学論	1後		2		1					
	植物多様性解析論	1前		2			1				
	与与去社会》										
	気候変動論※	1前		2		1					
		, <u>4</u> 4		_							
	天体データ論	1前		2							1
	データ・メディア認知論	1後		2		1					
) タックティア 最初開	11友				'					
	科学と人間・社会	1前		2		3	0				
	IT I CALLET ILLA	נים י		_		•					
	システム信頼性工学※	1後		2		1					
				_							
	ヒューマンケアシステム論	1後		2							3
											_
	数理解析学	1後		2			1				
	小計(264科目)	-									
	特別研修	1-2 前-後			2	1	1				
研											
修	海外特別研修I	1・2 前・後			4	1	1				
関係											
科	海外特別研修Ⅱ	1・2 前・後			2	1	1				
目											
	小計(3科目)										
防旋	事業継続計画(BCP・ MCP)の策定と実践	2前			2	2					
- 7											
*											
プログ	救急救命·災害医療実 務演習	2後			1	2					
Ž											
危機管理プログラム同選科目	小計(2科目)										
特	特別研究 I	1通年	4								
別											
研究	特別研究Ⅱ	2通年	4								
	小計(2科目)										
-	合計(281科目)	_									

卒業要件及び履修方法

※授業科目表に記載した科目中、末尾に「※」のある科目は、重複のある科目を示す。(小計及び合計においては、1科目として計上している) 共通科目から8単位(必修6単位、選択2単位)、専門科目から16単位(所属するユニットから12単位、その他のユニットから4単位)、特別研究 I・II から各4単位(計8単位)の合計32単位以上を修得すること。

さらに、修士論文もしくは特定課題についての研究の成果(☆)を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

- ☆歌唱や器楽曲などの実技や下記に示す作品
- 建築作品
- ・知的財産として登録済みの意匠
- ・特許(公開特許を含む)が採用された商品
- ・テレビ・ラジオなどにより放送された作品 ・劇場などで一般公開された作品(音楽作品や映像作品等)・公募展の入選作品
- ・企画展の招へい作品・展覧会の企画・キュレーション
- ・企画執行にかかわった商品

<u> [1</u>	和4年度】	1						·			並
科目	極業利見のなみ	配当		单位数					の配		兼 任
区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
	有機化学論	集中	12	2	щ	1		HIP	-3%	-	
	生物化学論	1後		2		1					
	動物社会学論	1後		2		1					
	植物多様性解析論	集中		2			1				
	与好本科会义										
	気候変動論※	1前		2		1					
	天体データ論	1前		2							1
	/ / / / m	נימי		_							'
	データ・メディア認知論	1後		2		1					
	科学と人間・社会	1前		2		2	1				
	システム信頼性工学※	1後		2		1					
	ヒューマンケアシステム論	1後		2							3
	小計(263科目)	_									
	特別研修	1-2 前-後			2	1	1				
	14204011				-	'	•				
	海外特別研修 I	1・2 前・後			4	1	1				
	海外特別研修Ⅱ	1・2 前・後			2	1	1				
	小計(3科目)										
	事業継続計画(BCP・ MCP)の策定と実践	2前			2	2					
	救急救命·災害医療実務演習	2後			1	2					
	小計(2科目)										
	の間(名称日)										
	特別研究 I	1通年	4			113	59	5			
		·	"				-	"			
	特別研究Ⅱ	2通年	4			113	59	5			
	小計(2科目)	- M-T					00				
	小計(2科目) 合計(282科目)	_									
-	ын (2021 7 П /		and /d.	T -10E							

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

※授業科目表に記載した科目中、末尾に「※」のある科目は、重複のある科目を示す。(小計及び合計においては、1科目として計上している)

共通科目から8単位(必修6単位、選択2単位)、専門科目から16単位(所属するユニットから12単位、その他のユニットから4単位)、特別研究 1・II から各4単位(計8単位)の合計32単位以上を修得すること。
さらに、修士論文もしくは特定課題についての研究の成果(☆)を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

☆歌唱や器楽曲などの実技や下記に示す作品・建築作品・20期財産として登録済みの意匠・特許(公開特許を含む)が採用された商品・テレビ・ラジオなどにより放送された作品・劇場などで一般公開された作品(音楽作品や映像作品等)・

・必要の名し、作品・企画展の招へし、作品・展覧会の企画・キュレーション・企画執行にかかわった商品

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。 ・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を

黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。

1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入していたです。 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(<u>2つの表が 1ページに表示されるように</u>してください。)

- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (

1) 一②授業科目表に関する	変更内容		
【平成30年度】			
【令和元年度】			
【令和2年度】			
<u> </u>			
【令和3年度】			
<u> </u>			

- ・教育内容の充実のため、共通科目「創発の基礎(D)」の教員数を教授2から3に変更・教育内容の充実のため、共通科目「創発の発展」の教員数を教授1から6に変更
- 教育内容の充実のため、共通科目「創発の視点」の教員数を教授1から3に変更
- ・教育課程上の体系・順次性を考慮し、教育内容の充実のため、共通科目「創発の思考」の開講学期を前期とし、教員数を教授1を増 ・教育課程上の体系・順次性を考慮し、教育内容の充実のため、共通科目「創発の実践」の開講学期を前期とし、教員数を教授1を増 ・教育課程上の体系・順次性を考慮し、教育内容の充実のため、共通科目「創発の実践」の開講学期を前期とし、教員数を教授6、准教授 1、兼扣 5を増
- ・教育内容の充実のため、共通科目「SDGs」の教員数を教授2から教授6、准教授1に変更
- ・教育内容の充実のため、共通科目「ELSI」の教員数を教授1、准教授1から教授5に変更
- ・教育課程における法学系領域の充実のため、 「民法Ⅴ」を追加
- ・教育課程における法学系領域の充実のため、「民法VI」を追加
- ・教育課程における法学系領域の充実のため、「市民生活と法」の内容を増とし、「市民生活と法(A)」と「市民生活と法(B)」に分
- ・教育課程における法学系領域の充実のため、「公共生活と法」の内容を増とし、「公共生活と法(A)」と「公共生活と法(B)」に分 割
- 通用性を考慮し 「保険システム論」の名称を「保険論」に変更

- ・通用性を考慮し、「保険システム論」の名称を「保険論」に変更
 ・通用性、教育内容との兼ね合いを考慮し、「防災・危機管理実習 I 」の名称を「防災・危機管理実習」に変更
 ・通用性、教育内容との兼ね合いを考慮し、「防災・危機管理実習 I 」の名称を「行政・企業防災・危機管理実務演習」に変更
 ・教育内容の充実、教員の昇任に伴い、「環境デザイン論」の教員数を教授 7、准教授 2 に変更
 ・教育内容の充実、教員の新規採用により、「かなり、「かなりの教員数を教授 9、准教授 5、講師 2、助教 1、兼担当 1 に変更
 ・教育内容の充実、教員の新規採用により、「デザイン思考論」の教員数を教授 4、准教授 4、講師 1、助教 1 に変更
 ・教育内容の充実、教員の新規採用により、「プロジェクトベースドラーニング」の教員数を教授 4、准教授 3、講師 1、助教 1 に変更
 ・教育内容の充実、教員の新規採用により、「プロジェクトベースドラーニング」の教員数を教授 4、准教授 3、講師 1、助教 1 に変更
 ・教育内容の充実、教員の新規採用により、「プロジェクトベースドラーニング」の教員数を教授 1、講師 1 から教授 1 に変更
 ・教育内容及び他科目の名称との兼ね合いを考慮し、「器楽(ピアノ演習)」を「アート表現(鍵盤楽器)」に変更
 ・教育内容の現任に伴い、「インフラ・アセットマネジメント特論 I 理論・」、「インフラ・アセットマネジメント特論 I 実践・」、「i-Costructionシステム学 -新技術・新工法・新材料-」、「公共・環境論・学」の担当教員(講師)を准教授として計上
 ・教育内容の明示、通用性を考慮し「建設材料学特論」を「i-Costructionシステム学 -新技術・新工法・新材料-」に名称変更
 ・教育内容の充実のため、「機械信頼性」の教員数を教授 1、助教 1 から教授 1 に変更

- ・教育内容の充実のため、「機械信頼性」の教員数を教授 1、 東教授 1 に変更 ・教育内容の充実を図るため、「機械信頼性」の教員数を教授 1、 准教授 1 に変更 ・教育課程の充実を図るため、新規教員を採用し、新たに「自動車人間工学」を追加 ・科目配置を再検討した結果、構造機能制御は、機械工学基盤ユニットから削除した(ただし、他ユニットでは開講する). ・教育課程を見直し、「プログラミング言語論 パラダイムと意味論」に統合 ・教育内容の充実のため、「数理・データサイエンス論」の教員を、教授15、准教授 6 に変更

- ・国内でのインターンシップ希望者を考慮し、「特別研修」を追加し、科目区分名を変更(自由科目) ・本学が提供している「四国防災・危機管理プログラム」(BPとして認定)の受講促進の一貫として、新たな科目区分「四国防災・危機 管理プログラム関連科目」を設け、自由科目として「事業継続計画(BCP・MCP)の策定と実践」、「救急救命・災害医療実務演習」を追加

【令和5年度】

- ・開講時期記載の過誤により、共通科目フィールドスタディの開講学期を1前に修正
- ・教員の辞任(割愛)に伴い、共通科目「創発の実践」の担当教員を教授△1
- ・教員の辞任(割愛)に伴い、専門科目「民法Ⅲ」を廃止
- ・教員の辞任(制愛)に伴い、専門科目「民法IV」を廃止 ・教員の辞任(制愛)に伴い、専門科目「民法IV」を廃止 ・教育内容の充実のため、専門科目「隣接法律職講義 II」担当教員を実務家(非常勤)としたため、教授△1、兼任1 ・教育課程の充実のため、専門科目「市民生活と法(C)」を追加(教授1) ・教育課程の充実のため、専門科目「市民生活と法(D)」を追加(教授1)
- ・教員の辞任(割愛)に伴い、専門科目「イノベーション論」担当准教授△1、当該教員を非常勤講師としたため兼任1、開講を1前に変 車
- を、教員の辞任(割愛)に伴い、専門科目「都市・交通計画論」担当准教授△1、当該教員を非常勤講師としたため兼任1・教員の昇任に伴い、専門科目「持続共生社会創成論」の教授1増、准教授△1・教員の昇任に伴い、専門科目「幸福論」の教授1増、准教授△1・教員の定年退職に伴い、専門科目「チャイルド・サイエンス概論」の教授△1・教育課程の系統性を鑑み、専門科目「ダイバーシティ&インクルージョン保育・教育論」の開講学期を1前に変更教育の実際に伴い、専門科目「ダイバーシティ&インクルージョン保育・教育論」の開講学期を1前に変更教育の実際に伴い、専門科目「ダイバーシティ&インクルージョン保育・教育論」の開講学期を1前に変更

- ・教員の定年退職に伴い、専門科目「子ども学フィールド演習」の教授△1さらに開講学期を変更
- ・教員の昇任に伴い、専門科目「人文的実践知」の教授 1 増、権教授 Δ 1 ・教員の定年退職に伴い、専門科目「台湾論」担当教授 Δ 1、当該教員を非常勤講師としたため兼任 1
- ・教員の昇任に伴い、専門科目「応用倫理学」の教授1増、准教授△1
- ・講義内容の明確化のため、専門科目「Globalization of higher education sector」の名称を「Plastics, marine garbage, and the environment」へ変更
- ・教員の辞職(割愛)及び教員の昇任に伴い、専門科目「エウスペリエンスデザイン&アート論」担当教授△1、准教授△・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「デザイン思考論」の教授△1
- ・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「応用最適化デザイン論」担当教授△1、当該教員を非常勤講師としたため兼任1
- ・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「商品企画とビジネス展開論」担当教授△1
- ・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「地域芸術論」担当准教授△1
- ・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「7-ト表現(鍵盤楽器)」担当准教授△1(休講)・教員の分担を鑑み、専門科目「アート表現(ビジュアルデザイン)」担当教授△1、准教授1増・教員の昇任に伴い、専門科目「光・量子材料評価学」の教授1増、准教授△1

- ・教員の昇任に伴い、専門科目「光・量子材料評価学」の教授 1 増、准教授 Δ 1 ・教員の定年退職に伴い、専門科目「機械信頼性」の教授 Δ 1、准教授 1 増 ・教員の昇任に伴い、専門科目「機械信頼性」の教授 Δ 1、准教授 1 増 ・教員の昇任に伴い、専門科目「バイオメカニクス」の准教授 1 増・・教育課程の充実のために、専門科目「ヒューマン・コンピュータ・インタラクション」を追加し准教授 1 増・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「情報以示・サ・リディ・デール」担当准教授 Δ 1 ・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「人工知能・情報通信ゼミナール」担当助教 Δ 1 ・教員の昇任に伴い、専門科目「無線通信ネットワーク信号処理」の教授 1 増、准教授 Δ 1 ・教員の昇任に伴い、専門科目「無線通信ネットワーク信号処理」の教授 1 増、准教授 Δ 1 ・教員の昇任に伴い、専門科目「建築」建築、本書の開発性管外、支援を1 1

- ・教育課程の充実のため、専門科目「建築・都市空間解析論」を追加し、講師1
- ・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「数理・データサイエンス論」担当准教授△1、准教授△1、さらに、教員の昇任に伴い教授1 增、准教授1
- 教員の昇任に伴い、専門科目「科学と人間・社会」の教授1増、准教授△1
- ・教育課程の充実のため、専門科目「数理解析学」を追加. 兼担当(准教授1) ・教員の辞職(割愛)のため、専門科目「応用統計学論」担当教授 (1) は教員を非常勤講師としたため、兼任 1 ・教員の辞職(割愛)のため、専門科目「応用統計学論」担当教授 (1) と (1) を廃止 ・教育の内容及び系統性を考慮して、専門科目「環境デザイン論」の開講学期を1前から1通に変更 ・教員の辞職(割愛)のため、専門科目「プロジェクトベースト・ラーニング」担当教授 (1) 1

- ・教員の辞職(割愛)に伴い、専門科目「都市・交通計画論」担当教授△1、当該教員を非常勤講師としたため兼任1

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 ・ 不要な思るであれば令和3年度規節)の表は適宜削除してください。

 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画変更状況			備考				
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	ルボ ク
8 科目	271 科目	2 科目	281 科目	8 科目 [0]	271 科目 [0]	2 科目 [0]	281 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	医用応用工学	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)、代替措置無
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	新技術と法 I	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)のため. 代替措置無
2	新技術と法Ⅱ	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)のため. 代替措置無
3	多文化共生地域論	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)のため. 代替措置無
4	高等教育論	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)のため. 代替措置無
5	コンピュテーショナルデザイン特論	2	1年次	_		届出後、さらに授業内容の点検を行い、他の科目の授業内容との重複等があったものについては、統合を行い、名目上廃止とした。
6	プログラミング言語意味論	2	1年次	_		届出後、さらに授業内容の点検を行い、他の科目の授業内容との重複等があったものについては、統合を行い、名目上廃止とした。
7	データ解析論	2	1年次	_		届出後、さらに授業内容の点検を行い、他の科目の授業内容との重複等があったものについては、統合を行い、名目上廃止とした。
8	民法Ⅲ	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)のため、代替措置無
9	民法Ⅳ	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)のため、代替措置無
10	ネットワークデータ解析	2	1年次	_	選択	教員辞職(割愛)のため、代替措置無

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(廃止について)

教員の辞職が急であったため、当該教員に兼任を依頼し、(オンライン等の方法を含めて)授業を開講しようと考えたが、今後数年に渡る当該科目の開講維持の見通しが不透明であることから、廃止を決断した。また、開設科目数が膨大であることから届出後もさらに教育課程と個々の科目の点検を行い、授業内容に重複が見られ統合可能な科目については、敢えて統合した。いずれも止むを得ないと考える。

〈未開講について〉

教員の辞職が急であり、兼任の可能性もきわめて低い状況であったため未開講とした. 現在、後任の教員を確保すべく検討を行っている. 教育課程の基幹となる科目ではないが、可能な限りの努力は行う.

届出後も教育課程の点検を継続したが、特定の教員の負担(担当科目数)に偏りが見られるものがあり、今後も整理を行う。

〈学生への周知方法〉

学生に対しては、ガイダンス(全体及び専門分野ごとで二重に実施することとした)時の履修方法、履修過程の説明の際に周知を行った。また、WEBへの修学案内、科目一覧の掲載を通じて周知を行った。

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	11	_	2 01	%
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	281	_	J. 91	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内				!	容				備考				
(1)		区	分		専	用	I	共	用		共用する 学校等の				計						
校		校 쇩	き 敷 ょ	t			4031 m ² 3265 m ²			mi			m [‡]			m [*]					
TX.		運動	場用地	ļ			6872m²			mi	m [*]		m			面積区分け変更等によ る増減					
地		小	吉	+		24	0903m [*] 0137m [*]	m [*]		m²	n ¹ m ²		m [‡]	m							
等		そ	の他	1			0122m 0888m²			mi			m [‡]			m [*]					
		合	計	†		95	1025 m ²			m [*]	共用する	шл	m ²			m [*]					
					専	用		共	用		キ用する 学校等の				計		田冷杰帝 亚子圆目末				
(2) 校	5		舎				1525m ² 1450m ²			mi			mi			m	用途変更、平面図見直 しのため。				
					(m [†])	(m ²)	(l	m²)		(m²)					
				講	義室		演習	室	実験実	習室	情報	処理学習		-	学学習						
(3) 教	Į.	室	等		9	6室		88室		662室			11室			2室					
						-					(補助		0人)		職員	2人)					
(4) 専	任教	0. 人员研究	室				行設学部等 		+ - -		室			数							
					創発科学研究科創 				斗字导攻			200			室						
(5)	亲	新設学			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			Г	雷子ジャ				・器具	標	本						
(0)		の名和	尓		J/100/	₩	() 3/11		種 〔うち外国			点		点		点					
					36 (257, 90 04 (259, 41	1)	25, 722 [7, 665] 25, 650 [7, 648] (25, 722 [7, 665])						24, 364 (26, 386 (22, 704)		8, 713 8, 667		(1, 288	図書・学術雑誌・視聴覚資料については、
図	創刻	発科学研	研究科	049, 40	(849, 41) (849, 257, 908)	226			(25, 722)			8, 713)			(1, 288)	日々、受入れと除籍をするので毎回変更がある。				
書				_	(850, 1259, 413)	737	-	(25, 650 648)		(26, 386 , 845)		, 667)	(0)			でである。 標本については、博物館の標本数が42点増え				
設備				849, 13	36 [257, 90 04 [259, 41	1]	25, 722 25, 650	[7,665]	24, 364 [26, 386 [22, 704]		8, 713 8, 667		()	1, 288 1, 246	たため。				
		計			(849, 1) [257, 908]			(25, 722 665))		(24, 364 , 704)		8, 713)	(0)	(1, 288)					
				_	(850, (259, 413)			(25, 650 648)	_{24	(26, 386 , 845)	-(8	, 667)		0)	_	(1, 246)					
(6) 図	1	書	館		面	積		_	閲覧座	席数		収	納	可能	· #	数	医学部分館の座席数が8席増えたため。 創造工学部分館の座席数の数え方				
(0)	,		νυ				11101 r 10101 r				839 811				1,	103, 250					
(7) 体		育	館		面	租	ŧ			体育館以	外のスァ	ピーツ旅	設の植	既要							
	-	1					5577r	n ⁱ 運動場	5面					· 14面	1						
		経費		₹	分	開設	年度 完成年度		_	分	開設前	前年度	開記	设年度		成年度					
(8) 経費の)自	積り			研究費等			千円 千円		購入費		千円		千円							
積り及 維持方	なび ī法			1	究 費 等	**-		- 		購入費	- 15	千円		千円		千円 左次					
の概	要	学生 1 り 納付	J	第	1年次	第	第3年次 第3年次			第 4 年次 第 5 年次 第 6 年次											
	-			il bl v	千円 無持ち法の	脚更	千F	ר <u>י</u>	千円		千円			千円		千円					
	学生納付金以外の維持方法の概要																				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)</u>
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。

なお、昨年度の報告において<mark>赤字で見え消し</mark>した部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	香川	大 学								平均入学定員 超過率0.7倍以 下の学科数	1	平均入学定員 超過率1.15倍 以上の学科数	収容定員充足 車0.7倍以下の 1 車1.5倍以上 学科数 0 学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度		
教育学部	4	160	-	640	学士 (教育学) (教養学)	1. 03	1. 03	1. 08	-	-	平成15	-	
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士	1. 03	1. 03	1. 08	-	-	平成15	香川県高松市幸町1番1号	
人間発達環境課程	4	-	-	-	学士	-	-	-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
法学部	4	160	3年次 10	660	学士	0. 97	0. 97	1. 03	-	-	平成15	-	
(昼夜開講制)													
法学科(昼)	4	150	3 年次 10	620	学士	1. 02	1. 02	1. 05	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0. 30	0. 30	0. 57	ı	-	平成15	同上	
経済学部	4	250	3 年次 20	1040	学士(経済学)	1. 06	1.06	1. 07	1	-	平成30	-	上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
(昼夜開講制)													
経済学科 (昼)	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-			-	-	-		平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科 (昼)	4	-	-	-			-	-	-		平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科 (昼)	4	-	-	-			-	-	-		平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科 (昼)	4	240	3年次 20	1000	学士	1. 07	1. 07	1. 08	-		平成30	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0. 76	0. 76	0. 92	ı	-	平成30	同上	
<u>医学部</u>	6	109	2年次 5	679	学士	1. 00	1.00	1.03	-	令和5	平成15	-	
	4	80		330	学士 (看護学) (臨床心理学)	1. 04	1. 04	1.04	-	-	平成15 平成30		
<u>医学科</u>	6	109	2年次 5	679	学士	1. 00	1.00	1. 02	-	令和5	平成15	香川県木田郡三木町大字 池戸1750番地1	平成25、30、令和2、4、5年度収容定員増による学年進行
看護学科	4	60		250	学士	1. 02	1. 02	1. 02	-	-	平成15	同上	令和4、5年度編入学定員変更による学年進行
臨床心理学科	4	20		80	学士 (臨床心理学)	1. 08	1. 08	1. 08	-	-	平成30	同上	
創造工学部	4	330	3年次 20	1360	学士	1. 01	1.01	1.06	-	-	平成30	-	
創造工学科	4	330	3年次 20	1360	学士	1. 01	1. 01	1.06	-	-	平成30	香川県高松市林町2217番 地20	
工学部	4	-	-	-	学士	-	-	-	-	-	平成15	-	
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	-	-	平成15	香川県高松市林町2217番 地20	平成30年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	-	-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	-	-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
材料創造工学科	4	-	-	-		-	-	-	-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
農学部	4	150	-	600	学士	1. 03	1. 03	1. 05	-	-	平成18	-	
応用生物科学科	4	150	-	600	学士	1. 03	1. 03	1. 05	-	-	平成18	香川県木田郡三木町大字 池戸2393番地	
大学全体 (学部)	4	1130	3 年次 50	4630	-	1. 03	1. 03	1.06	-	-	-	-	
	6	109	2年次 5	679	-	1.00	1.00	1. 02	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等 (短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。 なお、<u>本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません</u>。 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 - なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)Ⅳ. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、**必ず太宇にしてください**。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<創発科学研究科 創発科学専攻>

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任 · 兼担・ 氏 名 <就任(予定)年月> 兼任 保有学位等 の別 職名 担当授業科目名 山神 眞一 <令和4年4月> 博士 (医学) 専 チャイルド・サイエンス 概論 子ども学フィールド演習 教授 特別研究I 特別研究Ⅱ 西田 智子 <令和4年4月> 医学博士 専 教授 チャイルド・サイエンス概論 エコロジカル発達科学 特別研究I 特別研究Ⅱ 畦 五月 <令和4年4月> 博士(学術) 車 教授 「生活」に関するリスク 特別研究I 特別研究Ⅱ 北林 雅洋 <令和4年4月> 工学修士 専 教授 リスクの科学的予測情報の活用 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会 特別研究I 特別研究Ⅱ 櫻井 佳樹 <令和4年4月> 教育学修士 専 教授 持続共生社会創成論 人間形成論 特別研究 I 特別研究Ⅱ 若井 健司 <令和4年4月> 芸術学修士 専 教授 エクスへ。リエンス&アート論 地域芸術論 アート表現 (Vocal) 特別研究I 特別研究Ⅱ 青山 (髙山) 夕夏 <令和4年4月> 芸術学修士 専 教授 エクスへ゜リエンス&アート論 地域芸術論アート表現(器楽) 特別研究I 特別研究Ⅱ

【令和4年度】 兼担・ 氏 名 <就任(予定)年月> 兼任 保有学位等 の別 職名 担当授業科目名 山神 眞一 <令和4年4月> 博士 (医学) 専 教授 チャイルド・サイエンス概論 子ども学フィールド演習 特別研究 I 特別研究Ⅱ 西田 智子 <令和4年4月> 医学博士 車 教授 チャイルド・サイエンス概論 エコロジカル発達科学 特別研究 I 特別研究Ⅱ 畦 五月 <令和4年4月> 博士(学術) 車 教授 「生活」に関するリスク 特別研究I 特別研究Ⅱ 北林 雅洋 <令和4年4月> 工学修士 専 リスクの科学的予測情報の活 教授 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会 特別研究 I 特別研究 Ⅱ 櫻井 佳樹 <令和4年4月> 教育学修士 専 教授 持続共生社会創成論 人間形成論 特別研究I 特別研究Ⅱ 若井 健司 <令和4年4月> 芸術学修士 車 教授 エクスへ。リエンス&アート論 地域芸術論 アート表現 (Vocal) 特別研究I 特別研究Ⅱ 青山 (髙山) 夕夏 <令和4年4月> 芸術学修士 専 教授 エクスへ。リエンス&アート論 地域芸術論 アート表現(器楽) 特別研究I 特別研究Ⅱ

【令和5年度】

F 13 4	山5年度』	
専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	西田 智子 <令和4年4月> 医学博士
		チャイルド・サイエンス概論 エコロジカル発達科学 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	教授	畦 五月 <令和4年4月> 博士(学術)
4		「生活」に関するリスク 特別研究 I 特別研究 I
宙	教授	北林 雅洋 <令和4年4月> 工学修士
専		リスクの科学的予測情報の活用 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	櫻井 佳樹 <令和4年4月> 教育学修士
寸	4X1X	持続共生社会創成論 人間形成論 特別研究 I 特別研究 I
		若井 健司 <令和4年4月> 芸術学修士
専	教授	Iクスペッコンス&アート論 地域芸術論 アート表現(Vocal) 特別研究 I 特別研究 I
		青山 (高山) 夕夏 <令和4年4月> 芸術学修士
専		エクスペ リエンス&アート論 地域芸術論 アート表現 (器楽) 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	小西 憲一 <令和4年4月> 芸術学修士	専	教授	小西 憲一 <令和4年4月> 芸術学修士		専	教授	小西 憲一 <令和4年4月> 芸術学修士
₩ ₩	教授	文字文化論 特別研究 I 特別研究 I	4	教授	文字文化論 特別研究 I 特別研究 I		中	教 技	文字文化論 特別研究 I 特別研究 I
		坂井 聡 <令和4年4月> 修士(教育学)			坂井 聡 <令和4年4月> 修士(教育学)				坂井 聡 <令和4年4月> 修士(教育学)
専	教授	持続共生社会創成論 UD(ユニパーサルデザイン)開発論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	EISI 持続共生社会創成論 UD(ユニパーサルテ゚サ゚イン) 開発論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	EISI 持続共生社会創成論 UD(ユニバーサルデザイン)開発論 特別研究 I 特別研究 I
_	4/L 122	石川 雄一 <令和4年4月> 体育学修士	_	4/L 1/20	石川 雄一 <令和4年4月> 体育学修士		+	+/L 177	石川 雄一 <令和4年4月> 体育学修士
専	教授	チャイルド・サイエンス概論 身体運動発達論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	チャイルド・サイエンス概論 身体運動発達論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	チャイルド・サイエンス概論 身体運動発達論 特別研究 I 特別研究 I
		古草 敦史 <令和4年4月> 芸術学修士			古草 敦史 <令和4年4月> 芸術学修士				古草 敦史 <令和4年4月> 芸術学修士
専	教授	エウスペリエンス&アート論 地域芸術論 アート表現(ペインティング) アート表現(クラフト) アート表現(ビジュアルデザイン) 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	Iウスペリエンス&アート論 地域芸術論 アート表現(ペインティング) アート表現(クラフト) アート表現(ビジュアルデザイン) 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	r) xx リエンス&ア-ト論 地域芸術論 アート表現(ペインティン グ) アート表現(クラフト) 特別研究 I 特別研究 I
		山下 直子 <令和4年4月> 修士(人文科学)			山下 直子 <令和4年4月> 修士(人文科学)				山下 直子 <令和4年4月> 修士(人文科学)
専	教授	持続共生社会創成論※ 言語支援論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	創発の視点 持続共生社会創成論 言語支援論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の視点 持続共生社会創成論 言語支援論 特別研究 I 特別研究 I
		平 篤志 <令和4年4月> 博士(理学)			平 篤志 <令和4年4月> 博士(理学)				平 篤志 <令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	創発の視点 フィールドスタディ 人文的実践知 現代地域形成論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	創発の視点 フィールドスタディ 人文的実践知 現代地域形成論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の視点 フィールドスタディ 人文的実践知 現代地域形成論 特別研究 I 特別研究 I
*	#F 100	永尾 智 <令和4年4月> 修士(文学)	±	#L+120	永尾 智 <令和4年4月> 修士(文学)		#	*L-1-17	永尾 智 <令和4年4月> 修士(文学)
専	教授	言語生態論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	言語生態論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	言語生態論 特別研究 I 特別研究 I
		宮崎 英一 <令和4年4月> 博士(工学)			宮崎 英一 <令和4年4月> 博士(工学)				宮崎 英一 <令和4年4月> 博士(工学)
専	1	持続共生社会創成論 技術支援実装論 数理・データサイエンス論 プログラミング実装論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	ELSI 持続共生社会創成論 技術支援実装論 数理・データサイエンス論 プログラミング実装論 特別研究 I 特別研究 I	専	専	教授	ELSI 持続共生社会創成論 技術支援実装論 数理・データサイエンス論 プログラミング実装論 特別研究 I 特別研究 I

		T		1	1				
専	教授	高木 由美子 <令和4年4月> 博士 (理学) 数理・データサイエンス論 有機化学論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	高木 由美子 <令和4年4月> 博士 (理学) 数理・データサイエンス論 有機化学論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	高木 由美子 <令和4年4月> 博士 (理学) 数理・データサイエンス論 有機化学論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	山岸 知幸 <令和4年4月> 修士(教育学)	専	教授	山岸 知幸 <令和4年4月> 修士(教育学)		専	教授	山岸 知幸 <令和4年4月> 修士(教育学)
,	****	持続共生社会創成論 地域子育て若者支援論 特別研究 I 特別研究 I	,	2012	持続共生社会創成論 地域子育て若者支援論 特別研究 I 特別研究 I	4			持続共生社会創成論 地域子育て若者支援論 特別研究 I 特別研究 I
		高橋 尚志 <令和4年4月> 博士(理学)			高橋 尚志 <令和4年4月> 博士(理学)				高橋 尚志 <令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	表面電子構造論 数理・データサイエンス論※ 電子物性論 特別研究 I 特別研究 I	専		表面電子構造論 数理・データサイエンス論 ※ 電子物性論 特別研究 I 特別研究 I	専		教授	表面電子構造論 数理・データサイエンス論※ 電子物性論 特別研究 I 特別研究 I
		寺尾 徹 <令和4年4月> 博士(理学)			寺尾 徹 <令和4年4月> 博士(理学)				寺尾 徹 <令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	フィールドスタディ 気候変動論 環境デザイン論 インフラ・アセットマネジメント特論 I -理論 - (ンフラ・アセットマネジメント特論 I -実践 - 数理・データサイエンス論※ 特別研究 I 特別研究 I	専		創発の発展 SDGs フィールドスタディ 気候変動論 境デザイン論 インフラ・アセットマネシ・メント特論 I −理 論- インフラ・アセットマネシ・メント特論 I −実 践- 数理・データサイエンス論※ 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の発展 SDGs フィールドスタディ 気候変動論 (1)フラ・アセットマネジ・メント特論 I - 理論 - (ハフラ・アセットマネジ・メント特論 II - 実践 - 数理・データサイエンス論※ 特別研究 I 特別研究 I
		轟木 (岡) 靖子 <令和4年4月> 修士 (言語・文化学)			轟木 (岡) 靖子 <令和4年4月> 修士 (言語・文化学)				轟木 (岡) 靖子 <令和4年4月> 修士(言語・文化学)
専	教授	持続共生社会創成論 多文化理解論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ	専	教授	創発の視点 持続共生社会創成論 多文化理解論 特別研究 I 特別研究 I	専		教授	創発の視点 持続共生社会創成論 多文化理解論 特別研究 I 特別研究 I
		小方 直幸 <令和4年4月> 博士(学術)			小方 直幸 <令和4年4月> 博士(学術)				小方 直幸 <令和4年4月> 博士 (学術)
専	教授	持続共生社会創成論 非営利組織論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	持続共生社会創成論 非営利組織論 特別研究 I 特別研究 I	専		教授	持続共生社会創成論 非営利組織論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
		松本 一範 <令和4年4月> 博士(理学)			松本 一範 <令和4年4月> 博士(理学)				松本 一範 <令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	数理・データサイエンス論 動物社会学論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	数理・データサイエンス論 動物社会学論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	数理・データサイエンス論 動物社会学論 特別研究 I 特別研究 I
		小方 朋子 <令和4年4月> 修士(教育学)			小方 朋子 <令和4年4月> 修士(教育学)				小方 朋子 <令和4年4月> 修士(教育学)
専	教授	持続共生社会創成論 地域福祉論 特別研究 I 特別研究 I	專 教		持続共生社会創成論 地域福祉論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	持続共生社会創成論 地域福祉論 特別研究 I 特別研究 I

				1	1				
		藤元 恭子 <令和4年4月> 修士(体育学)			藤元 恭子 <令和4年4月> 修士(体育学)				藤元 恭子 <令和4年4月> 修士(体育学)
専	教授	チャイルド・サイエンス概論 子ども学フィールド演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	チャイルド・サイエンス概論 子ども学フィールド演習 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	チャイルド・サイエンス概論 子ども学コイールド演習 特別研究 I 特別研究 I
		上野 耕平 <令和4年4月> 博士(体育学)			上野 耕平 <令和4年4月> 博士(体育学)				上野 耕平 <令和4年4月> 博士(体育学)
専	教授	チャイルド・サイエンス概論※ 身体運動発達論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	チャイルド・サイエンス概 論※ 身体運動発達論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	チャイルド・サイエンス概論 ※ 身体運動発達論 特別研究 I 特別研究 I
		高野 啓児 <令和4年4月> 博士(理学)			高野 啓児 <令和4年4月> 博士(理学)				高野 啓児 <令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	数理・データサイエンス論 整数論と現代の暗号理論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	数理・データサイエンス論 整数論と現代の暗号理論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	数理・データサイエンス論 整数論と現代の暗号理論 特別研究 I 特別研究 I
		三宅 岳史 <令和4年4月> 博士(理学)			三宅 岳史 <令和4年4月> 博士(理学)				三宅 岳史 <令和4年4月> 博士(理学)
専	教授	人文的実践知 実践知の哲学 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	人文的実践知 実践知の哲学 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	人文的実践知 実践知の哲学 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会 特別研究 I 特別研究 I
		小森 博文 <令和4年4月> 博士(理学)			小森 博文 <令和4年4月> 博士 (理学)				小森 博文 <令和4年4月> 博士 (理学)
専	教授	数理・データサイエンス論 生物化学論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	数理・データサイエンス論 生物化学論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	数理・データサイエンス論 生物化学論 特別研究 I 特別研究 I
		松本 博雄 <令和4年4月> 博士(教育学)			松本 博雄 <令和4年4月> 博士(教育学)				松本 博雄 <令和4年4月> 博士(教育学)
専	教授	チャイルド・サイエンス概論 エコロジカル発達科学 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	チャイルド・サイエンス概 論 エコロジカル発達科学 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	チャイルド・サイエンス概論 エコロジカル発達科学 特別研究 I 特別研究 I
		山田 貴志 <令和4年4月> 博士(工学)			山田 貴志 <令和4年4月> 博士(工学)				山田 貴志 <令和4年4月> 博士 (工学)
専	教授	数理・データサイエンス論※ ヒューマンインタフェース論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	数理・データサイエンス論 ※ ヒューマンインタフェース 論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	数理・データサイエンス論※ ヒューマンインタフェース論 特別研究 I 特別研究 I
		Lim Lrong Yew <令和4年4月> 博士(経済学)			Lim Lrong Yew <令和4年4月> 博士(経済学)				Lim Lrong Yew <令和4年4月> 博士(経済学)
専	教授	Globalization of higher education sector 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	Globalization of higher education sector 特別研究 I 特別研究 I	専		教授	Plastics, marine garbage, and the environment 特別研究 I 特別研究 I
						. L			1

						_			
		藤井 篤 <令和4年4月> 博士(法学)			藤井 篤 <令和4年4月> 博士(法学)				藤井 篤 <令和4年4月> 博士 (法学)
専	教授	政治史 I 政治史 II 特別研究 I 特別研究 I	申	教授	政治史 I 政治史 II 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	政治史 I 政治史 I 特別研究 I 特別研究 I
		肥塚 肇雄 <令和4年4月> 博士(法学)							
専	教授	新技術と法 I 新技術と法 I 特別研究 I 特別研究 I							
		塚本 俊之 <令和4年4月> 法学博士			塚本 俊之 <令和4年4月> 法学博士				塚本 俊之 <令和4年4月> 法学博士
専	教授	憲法 I 憲法 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ	中	教授	憲法 I 憲法 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ		専	教授	憲法 I 憲法 I 特別研究 I 特別研究 I
		鹿子嶋 仁 <令和4年4月> 法学修士			鹿子嶋 仁 <令和4年4月> 法学修士				鹿子嶋 仁 <令和4年4月> 法学修士
専	教授	行政法 I 行政法 II リスク管理と法 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	行政法 I 行政法 I リスク管理と法 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	行政法 I 行政法 II リスク管理と法 特別研究 I 特別研究 I
		山本 陽一 <令和4年4月> 博士(法学)			山本 陽一 <令和4年4月> 博士(法学)				山本 陽一 <令和4年4月> 博士 (法学)
専	教授	法思想史 I 法思想史 I 公共生活と法 特別研究 I 特別研究 I	曲	教授	法思想史 I 法思想史 I 公共生活と法 (A) 公共生活と法 (B) 特別研究 I 特別研究 I		申	教授	法思想史 I 法思想史 I 公共生活と法 (A) 公共生活と法 (B) 特別研究 I 特別研究 I
		三野 靖 <令和4年4月> 修士(法学)			三野 靖 <令和4年4月> 修士(法学)				三野 靖 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	地方自治法 I 地方自治法 II 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	地方自治法 I 地方自治法 II 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	地方自治法 I 地方自治法 I 特別研究 I 特別研究 I
		石井 一也 <令和4年4月> 博士(経済学)			石井 一也 <令和4年4月> 博士(経済学)				石井 一也 <令和4年4月> 博士(経済学)
専	教授	持続共生社会創成論 グローバル共生社会論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	創発の発展 持続共生社会創成論 グローバル共生社会論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の発展 持続共生社会創成論 グローバル共生社会論 特別研究 I 特別研究 I
+	#/L.1==	金子 太郎 <令和4年4月> 修士(法学)	±	±/L1∞	金子 太郎 <令和4年4月> 修士(法学)		±	WL 1m2	金子 太郎 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	公共選択論 I 公共選択論 I 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	公共選択論 I 公共選択論 I 特別研究 I 特別研究 I	専		教授 	公共選択論 I 公共選択論 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ

		柴田 潤子 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	経済法 I 経済法 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
		平野 美紀 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	刑法 I 刑法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	金 宗郁 <令和4年4月> 博士(法学)
4	教授	行政学 地方自治論 特別研究 I 特別研究 I
	教授	青木 丈 <令和4年4月> 博士(政策研究)
専		税法 I 税法 I 市民生活と法
		隣接法律職講義 Ⅱ 特別研究 Ⅰ 特別研究 Ⅱ
専	教授	溝渕 彰 <令和4年4月> 修士(法学)
₹	4X1X	商法 I 商法 I 特別研究 I 特別研究 I
*	#L 120	細谷 越史 <令和4年4月> 博士(法学)
専	教授	労働法 I 労働法 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
		堤 英敬 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	ELSI
	72.12	政治過程論 政治行動論 政策法務基礎 特別研究 I 特別研究 I

		柴田 潤子 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	SDGs 経済法 I 経済法 I 特別研究 I 特別研究 I
		平野 美紀 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	ELSI 刑法 I 刑法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	金 宗郁 <令和4年4月> 博士(法学)
Ť	教技	行政学 地方自治論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
	教授	青木 丈 <令和4年4月> 博士(政策研究)
申		税法 I 税法 I 市民生活と法 (A) 市民生活と法 (b) 陳接法律職講義 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	溝渕 彰 <令和4年4月> 修士(法学)
†	4X1X	商法 I 商法 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	教授	細谷 越史 <令和4年4月> 博士(法学)
Ÿ	教技	労働法 I 労働法 I 特別研究 I 特別研究 I
		堤 英敬 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	ELSI 創発の実践 政治過程論 政治行動論 政策法務基礎 特別研究 I 特別研究 I

	教授	柴田 潤子 <令和4年4月> 修士(法学)
専		SDGs 経済法 I 経済法 I 特別研究 I 特別研究 I
		平野 美紀 <令和4年4月> 修士(法学)
専	教授	ELSI 刑法 I 刑法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	金 宗郁 <令和4年4月> 博士(法学)
7	教授	行政学 地方自治論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
	教授	青木 丈 <令和4年4月> 博士(政策研究)
専		税法 I 税法 I 市民生活と法 (A) 市民生活と法 (b)
		特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	*/	溝渕 彰 <令和4年4月> 修士(法学)
7	教授	商法 I 商法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	細谷 越史 <令和4年4月> 博士(法学)
7		労働法 I 労働法 I 特別研究 I 特別研究 I
		堤 英敬 <令和4年4月> 修士(法学)
専	専 教授	ELSI 創発の実践 政治過程論 政治行動論 政策研究 I 特別研究 I

専	教授	前原 信夫 <令和4年4月> 修士(法律学) 商法Ⅲ 商法Ⅳ 特別研究 I
専	教授	特別研究 I 山本 慎一 <令和4年4月> 博士 (国際公共政策) 現代社会の課題と国際法 I 現代社会の課題と国際法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	高橋 明郎 <令和4年4月> 文学修士 台湾論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	藤村 和宏 <令和4年4月> 博士 (商学) サービス・マネジメント論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	久松 博之 <令和4年4月> 博士(経済学) 計量経済学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	姚 峰 <令和4年4月> 博士(経済学) アジア経済論 統計学 データ統計論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	井上 善弘 <令和4年4月> 博士 (経営学) 監査論 会計学原理 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	水野 康一 <令和4年4月> 教育学修士 持続共生社会創成論 異文化間コミュニケーション論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	朴 鏡杓 <令和4年4月> 博士(経営学) 管理会計論 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	前原 信夫 <令和4年4月> 修士 (法律学) 商法Ⅲ 商法Ⅳ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	山本 慎一 〈令和4年4月〉 博士 (国際公共政策) 現代社会の課題と国際法 I 現代社会の課題と国際法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	高橋 明郎 <令和4年4月> 文学修士 台湾論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	藤村 和宏 <令和4年4月> 博士 (商学) サービス・マネジメント論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	久松 博之 〈令和4年4月〉 博士(経済学) 計量経済学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	姚 峰 <令和4年4月> 博士 (経済学) アジア経済論 統計学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	井上 善弘 〈令和4年4月〉 博士 (経営学) 監査論 会計学原理 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	水野 康一 <令和4年4月> 教育学修士 持続共生社会創成論 異文化間コミュニケーション 論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	朴 鏡杓 〈令和4年4月〉 博士(経営学) 管理会計論 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	前原 信夫 <令和4年4月> 修士(法律学) 商法Ⅲ 商法Ⅲ 商法M研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	山本 慎一 <令和4年4月> 博士 (国際公共政策) 現代社会の課題と国際法 I 現代社会の課題と国際法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	藤村 和宏 <令和4年4月> 博士 (商学) サービス・マネジメント論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	久松 博之 〈令和4年4月〉 博士(経済学) 計量経済学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	姚 峰 <令和4年4月> 博士(経済学) アジア経済論 統計学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	#上 善弘 <令和4年4月> 博士(経営学) 監査論 会計学原理 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	水野 康一 <令和4年4月> 教育学修士 持続共生社会創成論 異文化間コミュニケーション論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	朴 鏡杓 <令和4年4月> 博士 (経営学) 管理会計論 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	横山 佳充 <令和4年4月> 博士(経済学) 経済モデル解析 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	安井 敏晃 <令和4年4月> 博士 (経済学) 保険システム論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	原 直行 <令和4年4月> 博士(農学) 地域活性化とビジネス 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	朴 恩芝 〈令和4年4月〉 博士(経済学) 財務会計論 会計学原理 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	古川 尚幸 <令和4年4月> 修士(工学) 商品学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	宮脇 秀貴 <令和4年4月> 修士(経営学) 原価計算論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	宮島 美花 <令和4年4月> 修士 (政治学) アジア社会論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	長山 貴之 <令和4年4月> 修士(経済学) 創発の発展 財政学 地方財政論【隔年】 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	岡田 徹太郎 <令和4年4月> 博士 (経済学) 経済政策デザイン 地方財政論【隔年】 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

専	教授	横山 佳充 <令和4年4月> 博士(経済学)
		経済モデル解析 特別研究 I 特別研究 II
専	教授	安井 敏晃 <令和4年4月> 博士(経済学)
		保険論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	教授	原 直行 <令和4年4月> 博士(農学)
		地域活性化とビジネス 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
<u>.</u> .	4/L 1 m²	朴 恩芝 <令和4年4月> 博士(経済学)
専	教授	ELSI 財務会計論 会計学原理 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	古川 尚幸 <令和4年4月> 修士(工学)
,		SDGs 商品学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	宮脇 秀貴 <令和4年4月> 修士(経営学)
		原価計算論 特別研究 I 特別研究 II
専	教授	宮島 美花 <令和4年4月> 修士(政治学)
	教授	アジア社会論 特別研究 I 特別研究 I
		長山 貴之 <令和4年4月> 修士(経済学)
専	教授	創発の発展 財政学 地方財政論【隔年】 特別研究 I 特別研究 I
	教授	岡田 徹太郎 <令和4年4月> 博士(経済学)
専		創発の発展 創発の思考 経済政策デザイン 地方財政論【隔年】 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
	•	•

専	教授	横山 佳充 <令和4年4月> 博士(経済学) 経済モデル解析 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	安井 敏晃 <令和4年4月> 博士(経済学) 保険論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	原 直行 <令和4年4月> 博士(農学) 地域活性化とビジネス 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	朴 恩芝 <令和4年4月> 博士(経済学) ELSI 財務会計論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	古川 尚幸 <令和4年4月> 修士(工学) SDGs 商品学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	宮脇 秀貴 <令和4年4月> 修士(経営学) 原価計算論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	宮島 美花 <令和4年4月> 修士(政治学) アジア社会論 特別研究 I 特別研究 I
青	教授	長山 貴之 <令和4年4月> 修士(経済学) 創発の発展 財政学 地方財政論【隔年】 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	岡田 徹太郎 <令和4年4月> 博士(経済学) 創発の発展 創発の思考 経済政策デザイン 地方財政論【隔年】 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

						T				1
専	教授	沖 公祐 <令和4年4月> 博士(経済学)		専		沖 公祐 <令和4年4月> 博士(経済学)		専	教授	沖 公祐 <令和4年4月> 博士(経済学)
		ポリティカル・エコノミー 特別研究 I 特別研究 I				ポリティカル・エコノミー 特別研究 I 特別研究 I				ポリティカル・エコノミー 特別研究 I 特別研究 I
		園部 裕子 <令和4年4月> 博士 (学術)	:			園部 裕子 <令和4年4月> 博士 (学術)				園部 裕子 <令和4年4月> 博士 (学術)
専	専 教授	持続共生社会創成論 国際社会とジェンダー論 特別研究 I 特別研究 I		専		SDGs 持続共生社会創成論 国際社会とジェンダー論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ		専	教授	SDGs 持続共生社会創成論 国際社会とジェンダー論 特別研究 I 特別研究 I
専	事 教授	青木 宏之 <令和4年4月> 博士(経営学)		専	教授	青木 宏之 <令和4年4月> 博士(経営学)		車	教授	青木 宏之 <令和4年4月> 博士(経営学)
		雇用関係論 特別研究 Ⅰ 特別研究 Ⅱ		·		雇用関係論 特別研究 I 特別研究 II		•	₹ /12	雇用関係論 特別研究 I 特別研究 II
専	教授	加藤 美穂子 <令和4年4月> 博士(経済学)		専	教授	加藤 美穂子 <令和4年4月> 博士(経済学)		専	教授	加藤 美穂子 <令和4年4月> 博士(経済学)
\frac{1}{2}		福祉経済論 特別研究 I 特別研究 II		,	教授	福祉経済論 特別研究 I 特別研究 II		平		福祉経済論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
専	教授	持田 めぐみ <令和4年4月> 博士(経済学)		専	教授	持田 めぐみ <令和4年4月> 博士(経済学)		専	教授	持田 めぐみ <令和4年4月> 博士(経済学)
	72.12	マクロ経済学 特別研究 I 特別研究 I		4		マクロ経済学 特別研究 I 特別研究 I				マクロ経済学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	張 暁紅 <令和4年4月> 博士(経済学)		専	教授	張 暁紅 <令和4年4月> 博士(経済学)		専	教授	張 暁紅 <令和4年4月> 博士(経済学)
- 1	秋 校	経営史 特別研究 I 特別研究 I		₹		経営史 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ				経営史 特別研究 I 特別研究 I
		西成 典久 <令和4年4月> 博士(工学)				西成 典久 <令和4年4月> 博士(工学)				西成 典久 <令和4年4月> 博士 (工学)
専	教授	地域魅力学 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の発展 創発の実践 地域魅力学 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の発展 創発の実践 地域魅力学 特別研究 I 特別研究 II
専	教授	平田 英之 〈令4年4月〉 博士(工学)		専	教授	平田 英之 〈令4年4月〉 博士 (工学)				
		機械信頼性				機械信頼性				
専	教授	掛川 寿夫 <令4年4月> 薬学博士		専	数垺	掛川 寿夫 <令4年4月> 薬学博士		車	107 1	掛川 寿夫 <令4年4月> 薬学博士
-1	が区	生命材料科学 特別研究 I 特別研究 Ⅲ		4	教授	生命材料科学 特別研究 I 特別研究 Ⅲ	明	教授	生命材料科学 特別研究 I 特別研究 I	
専	数 超	下川 房男 <令4年4月> 博士(工学)		専	教授	下川 房男 <令4年4月> 博士(工学)		坤	— — 数垺	下川 房男 <令4年4月> 博士(工学)
₹	が区	枚授 センサイノベーション工学 特別研究 I 特別研究 I		4		センサイノベーション工学 特別研究 I 特別研究 I		4	教授	センサイノベーション工学 特別研究 I 特別研究 I

		1
専	教授	最所 圭三 <令4年4月> 工学博士
		分散並列処理論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
専	教授	馮 旗 <令4年4月> 理学博士
		持続可能無機材料 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	小柴 俊 〈令4年4月〉 博士(工学)
4	1 X1X	電子機能材料物性 特別研究 I 特別研究 I
+	*/L 155	堀川 洋 <令4年4月> 博士(工学)
専	教授	非線形システム工学 数理・データサイエンス論 特別研究 I 特別研究 I
4	教授	神野 正彦 <令4年4月> 博士(工学)
₹		光電子工学・光ネットワークエ学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	角道 弘文 <令4年4月> 農学博士
4		環境デザイン論 流域管理学 特別研究 I 特別研究 I
		平見 尚隆 <令4年4月> Ph. D.
専	教授	エクスペーリエンステ・サ・イン&アート論 デザザイン思考論 プ・ロジ・ェクトペーストラーエンか 商品企画とビジネス展開論 社会構造リスクからの事業デ・サ・イン論 特別研究 I 特別研究 I
*	**************************************	石丸 伊知郎 <令4年4月> 博士(工学)
専	教授	応用光学論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	須崎 嘉文 <令4年4月> 博士(工学)
₹	教授	光・電子材料プロセス工学 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	最所 圭三 〈令4年4月〉 工学博士 分散並列処理論 特別研究 I
専	教授	特別研究 I
専	教授	特別研究 I ・ 小柴 俊 <令4年4月> 博士 (工学) 電子機能材料物性 特別研究 I
専	教授	特別研究 I 堀川 洋 〈令4年4月〉 博士 (工学) 非線形システム工学 教理・データサイエンス論 特別研究 I
専	教授	特別研究 I 神野 正彦 〈令4年4月〉 博士(工学) 光電子工学・光ネットワーク工学 特別研究 I
専	教授	特別研究 I 角道 弘文 <令4年4月> 農学博士 環境デザイン論 流域管理学 特別研究 I 特別研究 I
專	教授	平見 尚隆 <令4年4月> Ph. D. 「カスペーリエンスデーザーイン&アート論 デザイン思考論 プ・ロジ・エクト・ニング・ 商品企画とビジネス展開論 社会構造リスクからの事業デーザーイン論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	石丸 伊知郎 <令4年4月> 博士(工学) ELSI 応用光学論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	須崎 嘉文 <令4年4月> 博士(工学) 光・電子材料プロセス工学 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	最所 圭三 〈令4年4月〉 工学博士 分散並列処理論 特別研究 I
専	教授	特別研究Ⅱ 馮旗 <令4年4月> 理学博士 持続可能無機材料
		特別研究 I 特別研究 I 小柴 俊 <令4年4月>
専	教授	博士 (工学) 博士 (工学) 電子機能材料物性 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	堀川 洋 <令4年4月> 博士 (工学) 非線形システム工学 数理・データサイエンス論
		数様・アー・デット・エンへ編 特別研究 I 特別研究 I 神野 正彦 〈令4年4月〉
専	専 教授	博士(工学) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
専	教授	角道 弘文 〈令4年4月〉 農学博士
		環境デザイン論 流域管理学 特別研究 I 特別研究 I
		平見 尚隆 <令4年4月> Ph. D.
専	教授	エウスベリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニング 商品企画とビジネス展開論 社会構造リスクからの事業デザイ ン論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	石丸 伊知郎 〈令4年4月〉 博士(工学)
₹	- 教授	ELSI 応用光学論 特別研究 I 特別研究 II
専	教授	須崎 嘉文 <令4年4月> 博士(工学)
		光・電子材料プロセス工学 特別研究 I 特別研究 I

		大場 晴夫 <令4年4月> 工学士			大場 晴夫 〈令4年4月〉 工学士				大場 晴夫 <令4年4月> 工学士
审	教授	創発の基礎(D) エクスズ゚リエンスデザイン&アート論※ デザイン思考論 プロジェクトペーストラーニン グ 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	創 発の実践 創発の基礎(D) エクスペリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトペーストラーニング 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の実践 創発の実践 創発の基礎(D) エクスペ・リエンステ・サ・イン&アート論 デザイン思考論 フ・ロジ・エクトペ・ーストラーニング 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	寺林 優< 令4年4月>理学博士環境デザイン論	専	教授	寺林 優 <令4年4月> 理学博士 環境デザイン論		専	教授	寺林 優 <令4年4月> 理学博士 環境デザイン論
		環境 J 外 I フ			環境・ディン論 環境基盤科学 特別研究 I 特別研究 I				環境・ディン論 環境基盤科学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	郭 書祥 〈令4年4月〉 工学博士							
		医用応用工学 特別研究 I 特別研究 II				-			
		井面 仁志 <令4年4月> 博士(工学)			井面 仁志 <令4年4月> 博士(工学)				井面 仁志 <令4年4月> 博士(エ学)
审	教授	防災・危機管理実習 I 防災・危機管理実習 I システム信頼性エ学 数理・データサイエンス論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	防災・危機管理実習 行政・企業防災・危機管理 実務演習 システム信頼性エ学 数理・データサイエンス論 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅱ		専	教授	防災・危機管理実習 行政・企業防災・危機管理 実務演習 システム信頼性エ学 数理・データサイエンス論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
		荒川 雅生 <令4年4月> 博士(エ学)			荒川 雅生 <令4年4月> 博士(工学)				
専	教授	エウスペ・リエンステ・サ・イン & アート論 デザイン思考論 シミュレーションデザイン論 応用最適化ビジネス展開論 数理・データサイエンス論※ 応用統計学論 特別研究 I 特別研究 I	車	教授	創発の実践 エクス・リエンス・ザイン&7ート論 デザイン思考論 応用最適化デザイン論 商品企画とビジネス展開論 数理・データサイエンス論 応用統計学論 特別研究 I 特別研究 I				
	教授	末永 慶寛 <令4年4月> 博士(工学)		教授	末永 慶寛 <令4年4月> 博士 (工学)			教授	末永 慶寛 <令4年4月> 博士 (工学)
専	(研 究科 長)	SDGs フィールドスタディ 水圏環境学 球境デザイン論 特別研究 I 特別研究 I	専	(研究 科長)	SDGs フィールドスタディ 水圏環境学 環境デザイン論 特別研究 I 特別研究 I		専	(研究科 長)	SDGs フィールドスタディ 水圏環境学 環境デザイン論 特別研究 I 特別研究 I
専	専 教授	田中 康弘 <令4年4月> 博士 (歯学)	+	*** T	田中 康弘 <令4年4月> 博士(歯学)		専	教授	田中 康弘 <令4年4月> 博士(歯学)
ν,		構造機能制御 微細構造解析 特別研究 I 特別研究 I		構造機能制御 微細構造解析 特別研究 I 特別研究 Ⅲ		専	教授	構造機能制御 微細構造解析 特別研究 I 特別研究 Ⅱ	

専	教授	吉田 秀典 〈令4年4月〉 博士(工学) 数値解析論 インフラ・アセットマネジメント特論 I -理論 - インフラ・アセットマネジメント特論 I -実践 - i-Costructionシステム学 -新技術・新工法・新材料 建設材料学特論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	吉田 秀典	専	教授	吉田 秀典
専	教授	髙橋 悟 〈令4年4月〉 博士(理学) SDGs マシンビジョン 数理・データサイエンス論 データ解析基礎数学 特別研究 I 特別研究 I		東	教授	高橋 悟 〈令4年4月〉 博士(理学) SDGs マシンビジョン 数理・データサイエンス論 データ解析基礎数学 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	高橋 悟 <令4年4月> 博士(理学) SDGs マシンビジョン 数理・データサイエンス論 データ解析基礎数学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	林 敏浩 < 今4年4月> 工学博士 研究倫理 創発の基礎(D) 創発の基礎(I) 持続共生社会創成論 対2へ、アムデザイン論 エウス、「サイク&アート論 数理・データサイエンス論 データ・メディア認知論 特別研究Ⅱ		审	教授	林 毎年4月 本令4年4月 本令4年4月 本令4年4月 不令4年 中衛発の基礎(D)創発発生社会創成論 対方ス・サインステ・ザイント 大力ス・サース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナース 大力ス・ナ	専	教授	林 敏浩 <令4年4月> 工学博士 研究倫理 創発の基礎(D) 創発の基礎(I) 持続共生社会創成論 カンスデザイン。 カンスデザインをアート 数理・データサイエンス論 データサイア認知論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	奥村 幸彦 〈令4年4月〉 博士(工学) 環境エネルギー変換工学 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	奥村 幸彦 〈令4年4月〉 博士 (エ学) 環境エネルギー変換工学 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	奥村 幸彦 〈令4年4月〉 博士 (工学) 環境エネルギー変換工学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	山中 稔 < 今4年4月 > 博士 (工学) (4)フラ・アセットマネジ・メント特論 I -理論 - (1)フラ・アセットマネジ・メント特論 I -実践 - 地盤リスクマネジメント論 特別研究 I 特別研究 I		审	教授	山中 稔 <令4年4月> 博士 (工学) インフラ・アセットマネジ・メント特論 I - 理論- インフラ・アセットマネジ・メント特論 II - 実践- 地盤リスクマネジメント論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	山中 稔 <令4年4月> 博士(エ学) 「ひフラ・アセットマネジ・メント特論 I - 理論- (ソフラ・アセットマネジ・メント特論 II - 実践- 地盤リスクマネジメント論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	丹治 裕一 <令4年4月> 博士 (工学) 回路デザイン演習 人工知能・情報通信ゼミナール 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	丹治 裕一 <令4年4月> 博士(工学) 回路デザイン演習 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	丹治 裕一 <令4年4月> 博士(工学) 回路デザイン演習 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	山中 隆史 〈令4年4月〉 修士(学術) 『プスペーリエンスデーザーイン&アート論 対話デザイン論 社会構造リスクからの事業デーザーイン論 特別研究 I 特別研究 I	,	車	教授	山中 隆史 〈令4年4月〉 修士 (学術) 「ロスペーリエンスデ・ザ・イン&アート論 対話デザイン論 特別研究 I 特別研究 I	専	教授	山中 隆史 〈令4年4月〉 修士(学術) 「ロスペーリエンステ・ザ・イン&アート論 対話デザイン論 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	石井 知彦 <令4年4月> 博士 (理学) 計算機材料デザイン 特別研究 I
		特別研究 II 鶴町 徳昭 <令4年4月> 博士 (エ学)
専	教授	光機能材料物性 応用量子力学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	舟橋 正浩 <令4年4月> 博士(工学)
		分子機能工学持論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	鈴木 桂輔 <令4年4月> 博士(工学)
,	教授	自動車運動制御論 特別研究 I 特別研究 I
	教授	井藤 隆志 <令4年4月> 芸術学士
専		Iウスペリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニン グ コンピュテーショナルデザイン特論 地域芸術論 特別研究 I
	教授	特別研究Ⅱ 高尾 英邦 <令4年4月>
専		博士(工学) マイクロセンシングデバイスエ学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	北島 博之 <令4年4月> 博士(工学)
₹		非線形システム工学 特別研究 I 特別研究 I
		前山 祥一 <令4年4月> 博士(工学)
専	教授	知能移動ロボット学 特別研究 I 特別研究 I
専	数捋	楠瀬 尚史 <令4年4月> 博士(工学)
4	教授	材料合成学 特別研究 I 特別研究 Ⅲ

専	教授	石井 知彦 〈令4年4月〉 博士 (理学) 計算機材料デザイン
		特別研究 I 特別研究 I 調町 徳昭 <令4年4月>
専	教授	博士 (工学) 光機能材料物性 応用量子力学 特別研究 I 特別研究 I
事	教授	舟橋 正浩 <令4年4月> 博士(工学)
		分子機能工学持論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	教授	鈴木 桂輔 <令4年4月> 博士(工学)
	<i></i>	自動車運動制御論 特別研究 I 特別研究 I
	教授	井藤 隆志 <令4年4月> 芸術学士
専		Iウスペリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラー ニング
		地域芸術論 特別研究 I 特別研究 II
専	教授	高尾 英邦 <令4年4月> 博士(工学) マイクロセンシングデバイ
		ス工学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	北島 博之 <令4年4月> 博士(工学)
		非線形システム工学 特別研究 Ⅰ 特別研究 Ⅱ
専	教授	前山 祥一 <令4年4月> 博士(工学)
₹		知能移動ロボット学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	楠瀬 尚史 <令4年4月> 博士(工学)
	教授	材料合成学 特別研究 I 特別研究 Ⅱ

専	教授	石井 知彦 〈令4年4月〉 博士 (理学) 計算機材料デザイン 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	鶴町 徳昭 <令4年4月> 博士(工学) 光機能材料物性 応用量子力学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	舟橋 正浩 〈令4年4月〉 博士(工学) 分子機能工学持論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	鈴木 桂輔 <令4年4月> 博士(工学) 自動車運動制御論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	教授	井藤 隆志 <令4年4月> 芸術学士 「カスペリエンスデザイン&7ート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニ ング 地域芸術論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	高尾 英邦 <令4年4月> 博士(工学) マイクロセンシングデバイス 工学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	北島 博之 <令4年4月> 博士(工学) 非線形システム工学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	前山 祥一 <令4年4月> 博士(工学) 知能移動ロボット学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	楠瀬 尚史 <令4年4月> 博士(工学) 材料合成学 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

専	教授	安藤 一秋 <令4年4月> 博士(工学)		専	教授	安藤 一秋 <令4年4月> 博士(工学)	卓	享	教授	安藤 一秋 <令4年4月> 博士 (工学)
	4	言語メディア処理論 特別研究 I 特別研究 I				本名 本名 本名 本名 本名 本名 本名 本名			言語メディア処理論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ	
専	教授	丸 浩一 <令4年4月> 博士 (工学)	車		教授	<令4年4月>	ī	F	教授	丸 浩一 <令4年4月> 博士(工学)
4	4X JX	光波応用工学 特別研究 I 特別研究 I				光波応用工学 特別研究 I 特別研究 I				光波応用工学 特別研究 I 特別研究 I
*	#/- 1-m	三木 信彦 〈令4年4月〉 博士(工学)		*	專 教授	<令4年4月>	-	.		三木 信彦 〈令4年4月〉 博士(工学)
専	教授	無線通信ネットワーク信号処理 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I 大 (令4年4月) 博士 (工学)				
専	教授	紀伊 雅敦 <令4年4月> 博士(工学)		専	教授	<令4年4月>				
—————————————————————————————————————	教授	都市・交通計画論 特別研究 I 特別研究 I		4	教授	都市・交通計画論 特別研究 I 特別研究 I				
專	教授	石塚 正秀 〈令4年4月〉 博士(工学)		専	教授	<令4年4月>	ā	=	教授	石塚 正秀 <令4年4月> 博士(工学)
寸	拟攻	環境デザイン論 河川・水循環論 特別研究 I 特別研究 I		₹	4X1X	環境デザイン論 河川・水循環論 特別研究 I 特別研究 I		+		河川・水循環論 特別研究 I
*	#/- 1-m	上村 忍 <令4年4月> 博士(学術)		#/ 155	<令4年4月>	-	.	*4.1	上村 忍 <令4年4月> 博士(学術)	
専	教授	機能性ナノ材料 特別研究 I 特別研究 I		専	教授			7	教技	分子デザル戦略 特別研究 I
		梶谷 義雄 <令4年4月> 博士 (工学)				<令4年4月>				梶谷 義雄 <令4年4月> 博士 (工学)
専	教授	創発の基礎(R) 行政・企業・医療のリスクマネシ・メント レジ・リエントな地域づくりのデ・ザ・イン 特別研究 I 特別研究 I	行政・企業・医療のリスクマネジメント レジリエントな地域づくりのデザイン 特別研究 I		教授	特別研究 I	専		教授	行政・企業・医療のリスクマネジメ ント レジリエントな地域づくりのデザイ ン 特別研究 I
		八重樫 理人 <令4年4月> 博士(工学)				八重樫 理人 <令4年4月>				八重樫 理人 <令4年4月> 博士 (工学)
専	教授	観光情報学 ソフトウェアプロジェクトマネ ジメント論 ソフトウェアデザイン論 数理・データサイエンス論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	創発の実践 観光情報学 ソフトウェアプロジェクト マネジメント論 ソフトウェアデザイン論 数理・データサイエンス論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	ŧ	i.	教授	創発の実践 観光情報学 ソフトウェアプロジェクトマ ネジメント論 ソフトウェアデザイン論 数理・データサイエンス論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
		野々村(池田)敦子 <令4年4月> 博士(学術)				野々村(池田)敦子 〈令4年4月〉 博士(学術)		專 教授	野々村(池田)敦子 <令4年4月> 博士(学術)	
専	教授	危機管理学 空間情報工学 環境デザイン論 特別研究 I 特別研究 I		専	教授	危機管理学 空間情報工学 環境デザイン論 特別研究 I 特別研究 I	Ē		危機管理学 空間情報工学 環境デザイン論 特別研究 I 特別研究 I	

専	教授	松本 洋明 <令4年4月> 博士(工学) 金属強度・転位論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	佐々木 大輔 〈令4年4月〉 博士 (工学) アドバンスドアクチュエータ 特別研究 I
		特別研究Ⅱ 唐澤 晃一 <令和4年4月>
専	准教 授	博士 (文学) 環境デザイン論 地中海環境史論
専	准教授	渡邊 史郎 <令和4年4月> 博士(文学)
- - -		近代小説・批評論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	守田 逸人 <令和4年4月> 博士 (文学)
		応用歴史学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	宮本 賢作 <令和4年4月> 博士 (医学) チャイルド・サイエンス概論 子ども環境保健学
専	准教 授	古橋 紀宏 <令和4年4月> 博士 (文学) 漢文資料研究
専	准教 授	篠原 渉 <令和4年4月> 博士(理学) 数理・データサイエンス論 植物多様性解析論 特別研究 I
専	准教 授	特別研究Ⅱ 大久保 智生 <令和4年4月> 博士(人間科学) 犯罪心理学特論
専	准教 授	青木 高明 <令和4年4月> 博士 (理学)
	授	数理・データサイエンス論 ネットワークデータ解析 特別研究 I 特別研究 I

専	教授	松本 洋明 <令4年4月> 博士 (工学)
		金属強度・転位論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	教授	佐々木 大輔 〈令4年4月〉 博士(工学)
		アドバンスドアクチュエー タ 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	唐澤 晃一 <令和4年4月> 博士(文学)
		環境デザイン論 地中海環境史論
車	教授	渡邊 史郎 <令和4年4月> 博士(文学)
	教授	近代小説・批評論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
車	教授	守田 逸人 <令和4年4月> 博士 (文学)
•		応用歴史学 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
車	教授	宮本 賢作 <令和4年4月> 博士 (医学)
4		チャイルド・サイエンス概論 子ども環境保健学 特別研究 I 特別研究 I
事	准教授	古橋 紀宏 <令和4年4月> 博士(文学)
1	准教技	漢文資料研究
±	*# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	篠原 渉 <令和4年4月> 博士(理学)
専	准教授	数理・データサイエンス論 植物多様性解析論 特別研究 I 特別研究 I
市	米	大久保 智生 <令和4年4月> 博士(人間科学)
専	准教授	犯罪心理学特論 特別研究 I 特別研究 I
		青木 高明 <令和4年4月> 博士(理学)
専	准教授	数理・データサイエンス論 ネットワークデータ解析 特別研究 I 特別研究 I
<u> </u>		

専	教授	松本 洋明 〈令4年4月〉 博士(工学) 金属強度・転位論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	佐々木 大輔 <令4年4月> 博士 (工学) アドバンスドアクチュエータ 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	唐澤 晃一 <令和4年4月> 博士(文学) 環境デザイン論 地中海環境史論
専	教授	渡邊 史郎 <令和4年4月> 博士(文学) 近代小説・批評論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	守田 逸人 <令和4年4月> 博士 (文学) 応用歴史学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	宮本 賢作 <令和4年4月> 博士 (医学) チャイルド・サイエンス概論 子ども環境保健学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	古橋 紀宏 <令和4年4月> 博士(文学) 漢文資料研究
専	准教授	篠原 渉 <令和4年4月> 博士 (理学) 数理・データサイエンス論 植物多様性解析論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	大久保 智生 <令和4年4月> 博士(人間科学) 犯罪心理学特論 特別研究 I 特別研究 I

			_						
専	准教 授	松井 剛太 <令和4年4月> 博士 (教育学) チャイルド・サイエンス概論 ダイバーシティ&インウルージョン保育・教育論 特別研究 I 特別研究 I		專	准教授	松井 剛太 <令和4年4月> 博士(教育学) チャイルド・サイエンス概 論 が イイバーシティ&インクルージョン保育・教育 論 特別研究 I 特別研究 I	専	准教授	松井 剛太 <令和4年4月> 博士 (教育学) チャイルド・サイエンス概論 ダイバーラティ&イッカルーラブ・3ン保育・教育 論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	東浦 亜希子 <令和4年4月> 博士 (音楽) エガスペリエンスデサ゚イン&アート論 地域芸術論 器楽 (ピアノ) 演習 特別研究 I 特別研究 I		専	准教授	東浦 亜希子 〈令和4年4月〉 博士 (音楽) 「「ロスハ・リエンステ・ザ・イン&アート論 地域芸術論 アート表現 (機盤楽器) 特別研究 I 特別研究 I			
専	准教 授	四ッ谷 直仁 <令和4年4月> 博士 (数理学) 数理・データサイエンス論 複素幾何学		専	准教授	四ッ谷 直仁 <令和4年4月> 博士 (数理学) 数理・データサイエンス論 複素幾何学	専	准教授	四ッ谷 直仁 <令和4年4月> 博士(数理学) 数理・データサイエンス論 複素幾何学
専	准教 授	北原 圭一郎 〈令和4年4月〉 修士(文学) 物語文学解釈論		専	准教授	北原 圭一郎 〈令和4年4月〉 修士(文学) 物語文学解釈論	専	准教授	北原 圭一郎 〈令和4年4月〉 修士 (文学) 物語文学解釈論
専	准教授	佐藤 慶太 <令和4年4月> 博士 (文学) 持続共生社会創成論 幸福論 人文的実践知 応用倫理学 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会		専	准教授	佐藤 慶太 〈令和4年4月〉 博士 (文学) 持続共生社会創成論 幸福論 人文的実践知 応用倫理学 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会	専	教授	佐藤 慶太 <令和4年4月> 博士 (文学) 持続共生社会創成論 幸福論 人文的実践知 応用倫理学 数理・データサイエンス論 科学と人間・社会 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	葛城 浩一 〈令和4年4月〉 博士(教育学) 高等教育論							
専	准教 授	西本 佳代 <令和4年4月> 修士 (教育学) チャイルド・サイエンス概論 保育・子育で実践政策学		専	准教授	西本 佳代 <令和4年4月> 修士 (教育学) チャイルド・サイエンス概 論 保育・子育て実践政策学	専	准教授	西本 佳代 <令和4年4月> 修士 (教育学) チャイルド・サイエンス概論 保育・子育て実践政策学
専	准教 授	Willey Ian David <令和4年4月> 博士(学術) Language and communicative issues in the age of globalization		専	准教授	Willey Ian David <令和4年4月> 博士(学術) Language and communicative issues in the age of globalization	専	准教授	Willey Ian David <令和4年4月> 博士(学術) Language and communicative issues in the age of globalization
専	准教 授	Neumann Florian <令和4年4月> 博士(哲学) Language and communicative issues in the age of globalization		専	准教授	Neumann Florian <令和4年4月> 博士 (哲学) Language and communicative issues in the age of globalization	専	准教授	Neumann Florian <令和4年4月> 博士(哲学) Language and communicative issues in the age of globalization

専	准教 授	McCrohan Gerardine Mary <令和4年4月> 文学修士
		Language and communicative issues in the age of globalization
		辻上 佳輝 <令和4年4月> 修士 (法学) 法律専門職基礎
専	准教 授	民事法概論 際接法律職講義!
		特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	岸野 薫 <令和4年4月> 博士 (法学)
	12	憲法Ⅲ 憲法Ⅳ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教	吉井 匡 <令和4年4月> 修士(法学)
	授	刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	。 准教	天田 悠 <令和4年4月> 博士 (法学)
,	授	刑法Ⅲ 刑法Ⅳ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教	春日川 路子 <令和4年4月> 修士 (法学)
	授	民事手続法 I 民事手続法 Ⅱ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	准教	林田 光弘 <令和4年4月> 修士 (法学)
7	授	民法 I 民法 I
専	准教	齋藤 航 <令和4年4月> 法務博士(専門職)
4	授 	民法Ⅲ 民法Ⅳ
専	准教	星野 良明 <令和4年4月> 修士(経済学)
4	授	市場均衡理論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ

専	准教授	McCrohan Gerardine Mary <令和4年4月> 文学修士
		Language and communicative issues in the age of globalization
		辻上 佳輝 <令和4年4月> 修士 (法学) 法律専門職基礎
専	准教授	民事法概論 民法Ⅴ 民法Ⅵ
		特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	准教授	岸野 薫 <令和4年4月> 博士(法学)
	應法Ⅲ 憲法Ⅳ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ	憲法IV 特別研究 I
専	del Sura	吉井 匡 <令和4年4月> 修士(法学)
₩	教授	刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	天田 悠 <令和4年4月> 博士(法学)
†	准扒技	刑法Ⅲ 刑法Ⅳ 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専		春日川 路子 <令和4年4月> 修士(法学)
₩	准教授	民事手続法 I 民事手続法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	林田 光弘 <令和4年4月> 修士(法学)
7	/E # 1	民法 I 民法 Ⅱ
専	准教授	齋藤 航 <令和4年4月> 法務博士(専門職)
	71.77	民法Ⅲ 民法Ⅳ
専	准教授	星野 良明 <令和4年4月> 修士(経済学)
₹	准拟权	ミクロ経済学 特別研究 I 特別研究 I
_		

専	准教授	McCrohan Gerardine Mary <令和4年4月> 文学修士 Language and communicative issues in the age of globalization
専	准教授	辻上 佳輝 〈令和4年4月〉 〈令和(法学) 法律専門職基礎 民事法概論 民法 V 民法 V 市民生活と法 (C) 市別研究 Ⅱ
専	准教授	岸野 薫 <令和4年4月> 博士 (法学) 憲法Ⅲ 憲法Ⅳ 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	吉井 匡 <令和4年4月> 修士(法学) 刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	天田 悠 <令和4年4月> 博士 (法学) 刑法Ⅲ 刑法Ⅳ 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	春日川 路子 <令和4年4月> 修士(法学) 民事手続法 I 民事手続法 I 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	林田 光弘 <令和4年4月> 修士(法学) 民法 I 民法 I
専	准教授	星野 良明 <令和4年4月> 修士(経済学) ミクロ経済学 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ

専	准教 授	繁本 知宏 <令和4年4月> 学士(法学) 金融会計論 特別研究Ⅱ
専	准教 授	藤原 敦志 <令和4年4月〉 修士(経済学) 地域金融論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	松岡 久美 <令和4年4月> 博士 (経営学) 創発の方法 創発の思考 ELSI 経営管理論 経営管理論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	向 渝 <令和4年4月> 修士(経営学) 経営管理論 国際経営論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	天谷 研一 <令和4年4月> Ph. D. 戦略と情報の経済学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	山崎 隆之 <令和4年4月> 博士 (工学) 観光デザイン 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	趙 命来 <令和4年4月> 博士(流通科学) 国際マーケテインング論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	緒方 宏海 < 令和4年4月 > 博士 (学術) 文化人類学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	大杉 奉代 <令和4年4月> 修士 (マネシ゚メント) 経営戦略論 特別研究 I 特別研究 I

専 本報授 事専 本教授 事事 本教授 本教授 本のデ研究 本教授			
専 本教授 事専 本教授 事事 本教授 事事 本教授 事事 本教授 事事 本教授 本教授 本のデ研研 ・	専	准教授	<令和4年4月> 学士(法学) 金融会計論 特別研究 I
中			藤原 敦志
専 本教授 本教授 本名本工 論論 I I 公和4年 D. A 公司	専	准教授 ·	特別研究I
専 本教授 事 本科 本科 <			<令和4年4月>
専 本教授 事 本教授 本教授 本名4年 本月別別 本年本年 本月別別 本年本年 本年本年 本年本年 本年本 本年本年 本年本	専	准教授	創発の思考 経営管理論 経営組織論 特別研究 I
本教授 本教			向 渝 <令和4年4月>
専 准教授 本教授 本教授 中 本教授 本教授 上本教授 本教授 上本教授 本教授 上本教授 本教授 上本教授 本本日学) 本年日学) 本年通知 本年通知 本年通知 本月学) 本年の完正 本年日学) 本年の子・ティンング論 本年年月学) 本年年月学) 大方和4年年月) 大時別別研究工 大参士 本年月月) 大参士 本年月月) 本年月月) 本名月別研究工 大参士 本名月別研究工 大参士 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の研究工 本名月別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別	専	准教授	国際経営論 特別研究 I
 専 本教授 職略と情報の経済学特別別研究 I 山崎和4年4月〉 (本教授) 動発の実践 (大部研究 I (本教授) 	専	准教授	<令和4年4月>
専 准教授 事 本教授 創発の実践 観光デデ究I 特別別研究I 2 創発の実践 報光デデ究I 特別別研究 I 2 2 2 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 4 5 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 7 4 8 4 8 4 9 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4	7		特別研究I
東 本教授 東 東 東 東 東 東 東 東 東			<令和4年4月>
専 本教授 (全角和4年4月> 博士 (流通科学) (本教授 を) (本教授 を)	専	准教授	観光デザイン 特別研究 I
国際マーケテインング論特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I 格方 宏海 < 令和4年4月 > 博士 (学術) 文化人類学特別研究 I 特別研究 I 大杉 奉代 < 令和4年4月 > 修士 (マネジ・メント) 経営戦略論特別研究 I	専	教授	<令和4年4月>
専 本教授 本教授 文化人類学特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I 特別研究 I (マネジ・メント) 本教授 大杉 奉代 (マネジ・メント) 経営戦略論特別研究 I	,		特別研究I
特別研究 I 特別研究 I 大杉 奉代 <令和4年4月> 修士 (マネジ・メント) 経営戦略論 特別研究 I	専	准教授	<令和4年4月>
専 准教授 経営戦略論特別研究 I		/正狄汉	特別研究I
経営戦略論 特別研究 I	専	准教授	<令和4年4月>
	甲		特別研究I

専	准教授	繁本 知宏 <令和4年4月> 学士 (法学) 金融会計論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	藤原 敦志 <令和4年4月> 修士(経済学) 地域金融論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	松岡 久美 <令和4年4月> 博士(経営学) 創発の方法 創発の思考 経営理論 経営組研究 I 特別研究 I
専	准教授	向 渝 <令和4年4月> 修士(経営学) 経営管理論 国際経営論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	天谷 研一 <令和4年4月> Ph. D. 戦略と情報の経済学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	山崎 隆之 <令和4年4月 > 博士 (工学) 創発の実践 観光デザイン 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	趙 命来 <令和4年4月> 博士(流通科学) 国際マーケテインング論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	緒方 宏海 <令和4年4月> 博士(学術) 文化人類学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	大杉 奉代 <令和4年4月> 修士 (マネジメント) 経営戦略論 特別研究 I 特別研究 I

					1					1
専	准教 授	二ツ山 達朗 <令和4年4月> 博士(地域研究) 観光人類学 特別研究 I		専	准教授	二ツ山 達朗 <令和4年4月> 博士(地域研究) 観光人類学 特別研究 I		専	准教授	二ツ山 達朗 <令和4年4月> 博士(地域研究) 観光人類学 特別研究 I
	准教 授	特別研究 I 海野 晋悟 <令和4年4月> 博士(経済学)		専	准教授	特別研究 Ⅱ 海野 晋悟 <令和4年4月> 博士(経済学)		専	准教授	特別研究Ⅱ 海野 晋悟 <令和4年4月> 博士(経済学)
	1×	期待と金融政策 特別研究 I 特別研究 Ⅱ				期待と金融政策 特別研究 I 特別研究 Ⅱ			期待と金融政策 特別研究 I 特別研究 II	
専	准教	渡邊 孝一郎 <令和4年4月> 修士(商学)		専	准教授	渡邉 孝一郎 <令和4年4月> 修士(商学)		車	准教授	渡邉 孝一郎 <令和4年4月> 修士 (商学)
,	授	流通論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ		7	72.77	流通論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ		,		流通論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教	塩谷 剛 <令和4年4月> 博士(経営学)		専	准教培	塩谷 剛 <令和4年4月> 博士(経営学)				
4	授	経営戦略論 イノベーション論 特別研究 I 特別研究 I		7		経営戦略論 イノベーション論 特別研究 I 特別研究 II				
専	准教	山口 尚美 <令和4年4月> 博士(商学)		専 准義	VL 40 157	山口 尚美 <令和4年4月> 博士 (商学)		亩	准教授	山口 尚美 <令和4年4月> 博士 (商学)
4	授	企業の社会的責任論 特別研究 I 特別研究 II			/	企業の社会的責任論 特別研究 I 特別研究 II	専	Ŧ	在扒区	企業の社会的責任論 特別研究 I 特別研究 II
専	准教	高橋 昂輝 <令和4年4月> 博士(理学)								
4	授	多文化共生地域論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ								
専	准教	福村 晃一 <令和4年4月> 博士(経済学)		専		福村 晃一 <令和4年4月> 博士(経済学)	専	車	准教授	福村 晃一 <令和4年4月> 博士(経済学)
4	授	公共経済学 特別研究 I 特別研究 I				公共経済学 特別研究 I 特別研究 Ⅲ		Ŧ	在扒区	公共経済学 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
		國枝 孝之 <令4年4月> 博士(工学)				國枝 孝之 〈令4年4月〉 博士(工学)				國枝 孝之 <令4年4月> 博士(工学)
専	捋	ェクスへ、リエンスデ・サ・イン&アート論 デ・ザイン思考論 プ・ロジ・ェクトへ、 - ストラーニング・ ロントロー としてジネス 展開論 DX時代のLeanStartup論 特別研究 I 特別研究 I		専	専 准教授	エクスペ リエンスデ・ザ・イン& アート論 デザイン思考論 プ・ロジェクトペーストラーニング 商品企画とビジネス 展開論 DX時代のLeanStartup論 特別研究 I 特別研究 I	:	専	准教授	I ウスペリエンスデサ゚イン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトペーストラーニング 商品企画とビジネス展開論 DX時代のLeanStartup論 特別研究 I 特別研究 I
	,	石塚 昭彦 <令4年4月> 工学修士				石塚 昭彦 <令4年4月> 工学修士			准教授	石塚 昭彦 <令4年4月> 工学修士
専		ェクスへ、リエンスデ、サ、イン & アート論 デザイン思考論 プ・ロジ・ェクトへ、 ーストラーニング・ サービスデザイン論 特別研究 I 特別研究 I		専	准教授	創発の基礎 (D) エクスベリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニング サービスデザイン論 特別研究 I 特別研究 I	専	専		創発の基礎 (D) Iクスペリエンステ゚ザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトペーストラーニンク゚ サービスデザイン論 特別研究 I 特別研究 I

専	准教 授	富永 浩之 <令4年4月> 理学修士 情報システム・セキュリティゼミナール
		特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	准教 授	喜田 弘司 <令4年4月> 博士 (工学)
	按	情報セキュリティ失敗学 特別研究 I 特別研究 II
		石原 秀則 <令4年4月> 博士(工学)
専	准教 授	生体応用メカトロニクス 特別研究 I 特別研究 I
*	准教	香川 考司 <令4年4月> 博士(理学)
専	授	プログラミング・パラダイム プログラミング言語意味論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	吉村 英徳 <令4年4月> 博士(工学)
		機械信頼性 連続体力学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	宮川 勇人 <令4年4月> 博士(工学)
		光·量子材料評価学 特別研究 I 特別研究 II
専	准教 授	藤本 憲市 <令4年4月> 博士(工学)
, and the second		医用情報科学 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
専	准教	中島 美登子 <令4年4月> 博士 (工学)
	授 	建築計画論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	准教	石井 光治 <令4年4月> 博士(工学)
₹	授	無線通信ネットワーク信号処理 特別研究 I 特別研究 I

専	准教授	富永 浩之 <令4年4月> 理学修士 情報システム・セキュリティゼミナール 特別研究 II
専	准教授	喜田 弘司 <令4年4月> 博士 (工学) 情報セキュリティ失敗学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	石原 秀則 <令4年4月> 博士(工学) 創発の発展 生体応用メカトロニクス 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	香川 考司 〈令4年4月〉 博士(理学) プログラミング言語論―パ ラダイムと意味論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	吉村 英徳 <令4年4月> 博士(工学) 機械信頼性 連続体力学 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	宮川 勇人 <令4年4月> 博士(工学) 光・量子材料評価学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	藤本 憲市 <令4年4月> 博士(工学) 医用情報科学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	中島 美登子 〈令4年4月〉 博士(工学) 建築計画論 特別研究 I 特別研究 I
中	准教授	石井 光治 <令4年4月> 博士(工学) 無線通信ネットワーク信号 処理 特別研究 I 特別研究 I

		T
専	准教授	喜田 弘司 <令4年4月> 博士(工学) 情報セキュリティ失敗学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	石原 秀則 <令4年4月> 博士 (工学) 創発の発展 生体応用メカトロニクス 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	香川 考司 〈令4年4月〉 博士 (理学) プログラミング言語論―パ ラダイムと意味論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	吉村 英德 <令4年4月> 博士 (工学) 機械信頼性 連続体力学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	宮川 勇人 <令4年4月> 博士 (工学) 光・量子材料評価学 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	藤本 憲市 <令4年4月> 博士(工学) 医用情報科学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	中島 美登子 <令4年4月> 博士(工学) 建築計画論 特別研究 I 特別研究 I
専	教授	石井 光治 <令4年4月> 博士(工学) 無線通信ネットワーク信号処 理 特別研究 I 特別研究 I

専	准教 授	高木 智彦 <令4年4月> 博士(工学) ソフトウェア開発実践論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	岡崎 慎一郎
専	准教 授	北村 尊義
専	准教授	後藤田 中 <令4年4月> 博士(工学) エウスペリエンスデザイン&アート論 ポジティブコンピューティング サイバー・フィジカル・メディア 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	寺尾 京平 <令4年4月> 博士 (工学) マイクロ流体工学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	磯田 恭佑 <令4年4月> 博士(工学) 分子デザイン戦略 特別研究 I 特別研究 I

専	准教授	高木 智彦 <令4年4月> 博士(工学)
		ソフトウェア開発実践論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
		岡崎 慎一郎 〈令4年4月〉 博士(工学) インフラ・7セットマネジメント特論 I -
専	准教授	理論- (ハフ・アセットマネジ・メント特論 I - 実践- 機械学習の理論と実践 i-Costructionシステム学 - 新技術・新工法・新材料 リスクベース・アプローチ 特論 構造信頼性工学
		数理・データサイエンス論 特別研究 I 特別研究 I
		北村 尊義 <令4年4月> 博士(エネルギー科学)
専	准教授	I 17A^ リI 17A 7 サ イソ& 7 - ト論 デザイン思考論 プ ロシ 1 1 1 ト 1 - T 1 ト 2 - T 1 -
		後藤田 中 <令4年4月> 博士(工学)
中	准教授	エウスペリエンスデザイン&アート論 ポジティブコンピューティ ング サイバー・フィジカル・メ ディア 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	寺尾 京平 <令4年4月> 博士 (工学)
, ·	72.33.3	マイクロ流体工学 特別研究 I 特別研究 I

専	准教授	高木 智彦 〈令4年4月〉 博士 (工学) ソフトウェア開発実践論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	岡崎 慎一郎
専	准教授	北村 尊義 <
専	准教授	後藤田 中 〈令4年4月〉 博士(工学) 「ロカストリエンステート 計 ポジティブコンピューティング サイバー・フィジカル・メ ディア 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	寺尾 京平 <令4年4月> 博士(工学) マイクロ流体工学 特別研究 I 特別研究 I
專	准教授	南 政宏 〈令5年4月〉 修士(環境科学) 特別研究 I 特別研究 I

		宮本 慎宏 <令4年4月> 博士(工学)
		インフラ・アセットマネシ゛メント特論 I -理論
専	准教 授	インフラ・アセットマネジメント特論Ⅱ -実践 -
		i-Costructionシステム学 -新技 術・新工法・新材料 構造信頼性工学 建築構造解析論 建設材料学特論 特別研究 I 特別研究 I
		勝又 暢久 <令4年4月> 博士 (工学)
専	准教 授	エウスハ・リエンスデ・サ・イン & 7-ト論 デザイン 思考論 プロジェクトベーストラーニン グ システムエ学論 コンピ ュテーショナルデ ザ イン特論 特別研究 I 特別研究 I
+	准教	高橋 亨輔 <令4年4月> 博士(情報学)
専	授	デーササイエンス!こよる危機管理学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教 授	松下(荒井)春奈 〈令4年4月〉 博士(工学)
,		計算知能 特別研究 I 特別研究 Ⅱ
専	准教 授	松田 伸也 <令4年4月> 博士 (工学)
,,		新世代構造材料 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	佐藤 敬子 <令4年4月> 博士(工学)
*		認知情報学 特別研究 I 特別研究 Ⅱ

専	准教授	宮本 慎宏 <令4年4月> 博士 (工学) (1)フラ・アセットマネジ・メント特論 I - 理論- (1)フラ・アセットマネジ・メント特論 II - 実践- i-Costructionシステム学 - 新棋造信頼性工学 建築構造解析論 特別研究 II
専	准教授	特別研究 I 勝又 暢久 〈令4年4月〉 博士 (工学) エカス・リエンスデ・ザ・イン&7-ト論 デザイン思考論 ブロジェクトベーストラー ニング システム工学論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	高橋 亨輔 <令4年4月> 博士(情報学) デ゙ータサイエンスによる危機管理学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	松下(荒井)春奈 <令4年4月> 博士(工学) 計算知能 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	松田 伸也 <令4年4月> 博士 (工学) 新世代構造材料 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	佐藤 敬子 〈令4年4月〉 博士(工学) 認知情報学 特別研究 I 特別研究 I

専	准教授	宮本 慎宏 < 令4年4月 > 博士 (エ学) 「(フラ・アセットマネジ・メント特論 I − 理論- インフラ・アセットマネジ・メント特論 I − 実践- i-Costructionシステム学 - 新技術・新工法・新材料 構造信頼性工学 建築構造解析論 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	勝又 暢久 〈令4年4月〉 博士 (工学) 「ロジェクトペーストラーニング システム工学論 特別研究 I 勝又 暢久 (令4年4月〉 (中4年4月) (中4年4
専	准教授	高橋 亨輔 〈令4年4月〉 博士(情報学) デー分けインスによる危機管理学 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	松下(荒井)春奈 〈令4年4月〉 博士(工学) 計算知能 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	松田 伸也 〈令4年4月〉 博士(工学) 新世代構造材料 特別研究 I 特別研究 I
專	准教授	佐藤 敬子 <令4年4月> 博士(工学) 認知情報学 特別研究 I 特別研究 I
*	准教授	田原 圭志朗 〈令和5年4月〉 博士(工学) 特別研究 I 特別研究 I
*	准教授	大宮 祐也 〈令和5年4月〉 博士(工学) 機械信頼性 特別研究 I 特別研究 I

専	准教 授	地元 孝輔 <令4年4月> 博士(工学) 防災工学 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	山ノ内 健太 <令和4年4月> 博士(経済学) 国際経済学
専	講師	森貞 誠 <令和4年4月> 博士(経済学) マーケティングサイエンス
専	講師	林 純一郎 <令4年4月> 博士(情報科学) 感性情報処理 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	竹内 謙善 <令4年4月> 博士 (工学) 「ロジュステート ボザイン思考論 プロジェクトベーストラーニン グ シミュレーションデザイン論 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	亀井 仁志 <令4年4月> 博士(工学) 情報基盤システム設計論 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	柴田 悠基 <令4年4月> 芸術工学士 「プスペーリエンステーザーイン&アート論※ コミュニティコンピューティング メディア文化論 地域芸術論※ 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	釜床(山下)美也子 <令4年4月> 博士(デザイン学) 建築構法論 特別研究 I 特別研究 I

専	准教授	地元 孝輔 <令4年4月> 博士(工学) 防災工学 特別研究 I
		特別研究 Ⅱ -
中	准教授	山ノ内 健太 <令和4年4月> 博士(経済学)
1	准纵纹	国際経済学
		森貞 誠 <令和4年4月> 博士(経済学)
専	准教授	マーケティングサイエンス
専	講師	林 純一郎 <令4年4月> 博士(情報科学)
		感性情報処理 特別研究 I 特別研究 I
		竹内 謙善 <令4年4月> 博士(エ学)
専	講師	ロタベリエンスデザイン&7-ト論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニ ング シミュレーションデザイン論 特別研究 I 特別研究 I
		亀井 仁志 <令4年4月> 博士(工学)
専	講師	情報基盤システム設計論 特別研究 I 特別研究 II
		柴田 悠基 <令4年4月> 芸術工学士
専	講師	エクスペ*リエンステ*サ*イン&アート論※ メディア文化論 地域芸術論※ 特別研究 I 特別研究 I
_		釜床(山下)美也子 <令4年4月> 博士(デザイン学)
専	講師	建築構法論 特別研究 I 特別研究 Ⅱ

専	准教授	地元 孝輔 〈令4年4月〉 博士(工学) 防災工学 特別研究 I 特別研究 I
專	准教授	小水内 俊介 〈令和5年4月〉 博士 (工学) ヒューマン・コンピュー タ・インタラクション 特別研究 I 特別研究 I
専	准教授	山ノ内 健太 <令和4年4月> 博士(経済学) 国際経済学
専	准教授	森貞 誠 <令和4年4月> 博士 (経済学) マーケティングサイエンス
専	講師	林 純一郎 〈令4年4月〉 博士 (情報科学) 感性情報処理 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	竹内 謙善 〈令4年4月〉 博士(工学) エウスバリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニン グ シミュレーションデザイン論 特別研究 I 特別研究 Π
専	講師	亀井 仁志 <令4年4月> 博士 (工学) 情報基盤システム設計論 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	柴田 悠基 <令4年4月> 芸術工学士 エウスペリエンステ゚ザイン&アート論※ メディア文化論 地域芸術論※ 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	釜床(山下)美也子 <令4年4月> 博士(デザイン学) 建築構法論 特別研究 I 特別研究 I

専	講師	竹之内 健介 〈令4年4月〉 博士(情報学)	専	准教授	竹之内 健介 <令4年4月> 博士 (情報学)	專	准教授	竹之内 健介 <令4年4月> 博士(情報学)
		リスクコミュニケーション論 特別研究 I 特別研究 I			リスクコミュニケーション 論 特別研究 I 特別研究 I			リスクコミュニケーション論 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
専	講師	井上 恒 <令4年4月> 博士(人間科学)	専	講師	井上 恒 〈令4年4月〉 博士(人間科学)	専	専 准教授	井上 恒 <令4年4月> 博士(人間科学)
		バイオメカニクス 特別研究 I 特別研究 I			バイオメカニクス 特別研究 I 特別研究 Ⅲ			バイオメカニクス 特別研究 I 特別研究 I
専	講師	米谷 雄介 <令4年4月> 博士 (工学)	専	准教授	米谷 雄介 <令4年4月> 博士(工学)	専	准教授	米谷 雄介 <令4年4月> 博士(工学)
		データ利活用プラットフォーム演習 特別研究 I 特別研究 Ⅱ			データ利活用プラットフォーム演習 特別研究 I 特別研究 Ⅲ			データ利活用プラットフォーム演習 特別研究 I 特別研究 II
専	講師	福森 聡 <令4年4月> 博士 (工学)	専	講師	福森 聡 <令4年4月> 博士(工学)	専	講師	福森 聡 <令4年4月> 博士(工学)
		セキュリティ・インタフェース設計学 特別研究 I 特別研究 I		i 講師	セキュリティ・インタフェース設計学 特別研究 I 特別研究 II		再即	セキュリティ・インタフェース設計学 特別研究 I 特別研究 Ⅲ
		荒木 裕行 <令4年4月> 博士(工学)			荒木 裕行 〈令4年4月〉 博士 (工学)			荒木 裕行 〈令4年4月〉 博士 (工学)
専	講師	インフラ・アセットマネジ・メント特論 I -理論 - インフラ・アセットマネジ・メント特論 I -実践 - i-Costructionシステム学 -新技	専	准教授	インフラ・アセットマネジ・メント特論 I - 理論- インフラ・アセットマネジ・メント特論 I - 実践- i-Costructionシステム学 -	専	准教授	イソフラ・アセットマネジ・メント特論 I - 理論- インフラ・アセットマネジ・メント特論 I - 実践- i-Costructionシステム学 -
	付 	が・新工法・新材料 リスクベース・アプローチ特論 建設材料学特論 特別研究 I 特別研究 I			新技術・新工法・新材料 リスクペース・アプローチ 特論 韓設材料学特論 特別研究 I 特別研究 I			新技術・新工法・新材料 リスクベース・アプローチ特 論 建設材料学特論 特別研究 I 特別研究 I
専	小玉 崇宏 <令4年4月> 博士(工学)		専権教授	准教授	小玉 崇宏 <令4年4月> 博士(工学)	専	事 准教授	小玉 崇宏 <令4年4月> 博士 (工学)
	H1781	コヒーレント光通信工学 特別研究 I 特別研究 I		\ _	コヒーレント光通信工学 <mark>人工知能・情報通信セ゚ミナール</mark> 特別研究 I 特別研究 I		VI	コヒーレント光通信工学 人工知能・情報通信セ*ミナール 特別研究 I 特別研究 I
		玉置 哲也 <令4年4月> 博士(情報学)			玉置 哲也 〈令4年4月〉 博士(情報学)			玉置 哲也 〈令4年4月〉 博士(情報学)
専	講師	環境デザイン論 公共・環境経済学 インフラ・アセットマネジ・メント特論 I -理論 - インフラ・アセットマネジ・メント特論 II -実践 - 特別研究 I	専	准教授	SDGs 環境デザイン論 公共・環境経済学 インフラ・アセットマネジメント特論 I - 理論- インフラ・アセットマネジメント特論 I - 実践- 実践- 特別研究 I	専	専 准教授	SDGs 環境デザイン論 公共・環境経済学 インフラ・アセットマネジ・メント特論 I - 理論- インフラ・アセットマネジ・メント特論 II - 実践- 特別研究 I
		特別研究Ⅱ			特別研究 II 堤 成可 〈令4年4月 〉			特別研究 II 堤 成可 〈令4年4月〉
			*	講師	自動車人間工学	專	専 講師	博士 (工学)
事	助数	小野 貴史 〈令4年4月〉 博士(理学)	事	助教	小野 貴史 〈令4年4月〉 博士(理学)	<u> </u>	助教	小野 貴史 <令4年4月> 博士(理学)
4	応用量子力学		ਚ	P) 子X	応用量子力学	प	守 則教	応用量子力学

専	助教	鈴木 達也 <令4年4月> 博士(工学) 建築計画論
専	助教	李 セロン 〈令4年4月〉 博士(工学) 「オスペリエンスデサ゚イン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニン グ ポジティブコンピューティング
専	助教	山本 高広 <令4年4月> 博士(エ学) 建築構法論
専	助教	李 鯤 <令4年4月> 博士 (エ学) 人工知能・情報通信ゼミナール
専	助教	小宅 由似 〈令4年4月〉 博士(農学) 環境基盤科学
専	助教	北御門 雄大 <令4年4月> 博士 (工学) センサイノベーション工学
兼担	教授	松村 雅文 <令和4年4月> 理学博士 数理・データサイエンス論 天体データ論

専	助教	鈴木 達也 <令4年4月> 博士 (工学)
		建築計画論
		李 セロン <令4年4月> 博士(工学)
邮	助教	Iウスベリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラー ニング ポジティブコンピューティ ング
専	助教	山本 高広 <令4年4月> 博士(工学)
		建築構法論
専	助教	李 鯤 <令4年4月> 博士(工学)
7		人工知能・情報通信ゼミ ナール
専	助教	小宅 由似 <令4年4月> 博士(農学)
7		SDG s 環境基盤科学
兼担	教授	松村 雅文 <令和4年4月> 理学博士
本担		数理・データサイエンス論 天体データ論

専	講師	鈴木 達也 〈令4年4月〉 博士 (工学) 建築計画論 建築・都市空間解析論
		李 セロン <令4年4月> 博士(エ学)
専	助教	Iウスベリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論 プロジェクトベーストラーニ ング ポジティブコンピューティン グ
専	助教	山本 高広 <令4年4月> 博士(エ学)
		建築構法論
専	助教	小宅 由似 〈令4年4月〉 博士(農学)
		SDG s 環境基盤科学
	助教	平野 満大 (令和5年4月) 博士 (工学)
		構造機能制御
	助教	武田 健太郎 〈令和5年4月〉 博士(工学)
		人工知能・情報通信ゼミナール 医用情報科学
兼担	! 教授	松村 雅文 <令和4年4月> 理学博士
		数理・データサイエンス論 天体データ論

教授	笠 潤平 <令和4年4月> 修士(教育学) 数理・データサイエンス論 物理・科学教育研究特論
教授	岡田 知也 <令和4年4月> 教育学修士 エクスペ・リェンステ・サ・イン & 7 - ト論
	地域芸術論 音楽アナリーゼ論 片岡 元子 <令和4年4月> 修士(教育学)
教授	保育・子育て実践政策学
教授	板谷 和彦 <令4年4月> 博士(工学)、博士(学術) 創発の方法 創発の実践
教授	平尾 智広 <令4年4月> 博士(医学)
	災害と健康管理・メンクルヘルスケア 黒田 泰弘 <令4年4月> 医学博士
教授	災害と健康管理・メンタルヘルスケア
教授	松本 啓子 <
数 运	前川 泰子 <令4年4月> 博士(工学)
+X1⊠	数理・データサイエンス論ヒューマンケアシステム論
教授	山本 美輪 <令4年4月> 博士 (看護学) 数理・データサイエンス論 ヒューマンケアシステム論
准教 授	吉川 暢子 <令和4年4月> 博士(学校教育学)
	数 数 数 数 数 数 数 准 投 投 投 投 投 投

兼担	教授	笠 潤平 <令和4年4月> 修士 (教育学) 数理・データサイエンス論 物理・科学教育研究特論
兼担	教授	岡田 知也 <令和4年4月> 教育学修士 エウスベリエンスデザイン&アート論 地域芸術論
		音楽アナリーゼ論 片岡 元子 <令和4年4月>
兼担	教授	修士 (教育学) 保育・子育て実践政策学
兼担	教授	板谷 和彦 <令4年4月> 博士(工学)、博士(学 術)
	教授	創発の方法 創発の実践
兼担	教授	平尾 智広 <令4年4月> 博士 (医学)
		災害と健康管理・メンタルヘルスケア
兼担	教授	黒田 泰弘 <令4年4月> 医学博士
		災害と健康管理・メンタルヘルスケア
兼担	教授	松本 啓子 〈令4年4月〉 博士(保健学)
		数理・データサイエンス論 ヒューマンケアシステム論
兼担	教授	前川 泰子 〈令4年4月〉 博士(工学)
		数理・データサイエンス論 ヒューマンケアシステム論
兼担	教授	山本 美輪 <令4年4月> 博士(看護学)
		数理・データサイエンス論 ヒューマンケアシステム論
兼担	担 准教授	吉川 暢子 <令和4年4月> 博士(学校教育学)
		子ども学フィールド演習 地域芸術論

兼担	教授	笠 潤平 <令和4年4月> 修士(教育学) 数理・データサイエンス論 物理・科学教育研究特論
兼担	教授	岡田 知也 <令和4年4月> 教育学修士 エクスペリエンステ゚ザイン&アート論 地域芸術論 音楽アナリーゼ論
兼担	教授	片岡 元子 <令和4年4月> 修士(教育学) 保育・子育て実践政策学
兼担	教授	板谷 和彦 〈令4年4月〉 博士(エ学)、博士(学術) 創発の方法 創発の実践
兼担	教授	平尾 智広 <令4年4月> 博士 (医学) 災害と健康管理・メンタルヘルスケア
兼担	教授	黒田 泰弘 〈令4年4月〉 医学博士 災害と健康管理・メンタルヘルスケア
兼担	教授	松本 啓子 <令4年4月> 博士 (保健学) 数理・データサイエンス論 ヒューマンケアシステム論
兼担	教授	前川 泰子 <令4年4月> 博士 (工学) 数理・データサイエンス論 ヒューマンケアシステム論
兼担	教授	山本 美輪 <令4年4月> 博士 (看護学) 数理・データサイエンス論 ヒューマンケアシステム論
兼担	准教授	吉川 暢子 <令和4年4月> 博士(学校教育学) 子ども学フィールド演習 地域芸術論

兼担	准教 授	岡田 涼 <令和4年4月> 博士 (心理学) 子ども学実践データ演習
兼担	准教授	吉澤 康代 <令4年4月> 博士 (政策・メディア)
兼担	准教授	坂中 尚哉 <令4年4月> 博士(学術) 災害心理学
兼担	准教授	谷渕 真也 <令4年4月> 博士(心理学) 災害心理学
兼担	准教授	川人(杉野本) 潤子 <令4年4月> 博士(心理学) 災害心理学
兼担	准教授	野口 修司 <令4年4月> 博士(教育学) 災害心理学
兼担	講師	長谷(片山)綾子 <令4年4月> 博士(教育学) 災害心理学
兼任	非常勤講師	岩野 哲 <令和4年4月> - - 隣接法律職講義!

兼担	准教授	岡田 涼 <令和4年4月> 博士(心理学)
		子ども学実践データ演習
兼担	准教授	吉澤 康代 <令4年4月> 博士(政策・メディア)
		創発の実践
兼担	准教授	坂中 尚哉 <令4年4月> 博士(学術)
		災害心理学
兼担	准教授	谷渕 真也 <令4年4月> 博士(心理学)
N. I.E.	7.673.13	災害心理学
兼担	准教授	川人(杉野本) 潤子 <令4年4月> 博士(心理学)
		災害心理学
兼担	准教授	野口 修司 <令4年4月> 博士(教育学)
		災害心理学
兼担	講師	長谷(片山)綾子 <令4年4月> 博士(教育学)
NO.1	шти-	災害心理学
* 'r	非常勤	岩野 哲 <令和4年4月> -
兼任	講師	隣接法律職講義[

兼担	准教授	岡田 凉 <令和4年4月> 博士(心理学) 子ども学実践データ演習
兼担	准教授	吉澤 康代 <令4年4月> 博士 (政策・メディア)
兼担	准教授	坂中 尚哉 〈令4年4月〉 博士(学術) 災害心理学
兼担	准教授	谷渕 真也 〈令4年4月〉 博士(心理学) 災害心理学
兼担	准教授	川人(杉野本) 潤子 〈令4年4月〉 博士(心理学) 災害心理学
兼担	准教授	野口 修司 <令4年4月> 博士(教育学) 災害心理学
兼担	准教授	長谷(片山)綾子 〈令4年4月〉 博士(教育学) 災害心理学
専任	准教授	宮崎 隼人 《令4年4月》
専任	准教授	尹 智博 〈令4年4月〉 博士 (芸術工学) アート表現 (ビジュアルデザイン)
兼任	非常勤講 師	岩野 哲《令和4年4月》

			-					-	
兼任	非常勤講	酒井 啓司 <令和4年4月> -							
N.I.	師	隣接法律職講義Ⅱ							
							兼任	非常勤講	重松 修 〈令和5年4月〉
							жц	師	隣接法 律職請義 II
兼任	非常勤講	RANADE RAVINDRA RAGHUNATH <令和4年4月> 経済学博士		兼任	非常勤	RANADE RAVINDRA RAGHUNATH <令和4年4月> 経済学博士	兼任	非常勤講	RANADE RAVINDRA RAGHUNATH <令和4年4月> 経済学博士
X.H	插	数理経済学		XII	講師	数理経済学	X II	師	数理経済学
							兼任	非常勤講	高橋 明郎 <令和4年4月> 文学修士
							жц	師	台湾論
									荒川 雅生 <令5年4月> 博士(工学)
							兼任	非常勤講 師	創発の実践 エクスベリエンスデザイン&アート論 デザイン思考論
									応用最適化デザイン論 商品企画とビジネス展開論 数理・データサイエンス論 応用統計学論
							兼任	非常勤講	紀伊 雅敦 〈令5年4月〉 博士 (工学)
							末正	師	都市・交通計画論
							兼任	非常勤講	塩谷 剛 <令和5年4月> 博士(経営学)
							末正	師	イノペーション論

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任 (専門職大学等は専、実専、実 (研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム) の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】	
【令和元年度】	
【令和2年度】	
【令和3年度】	
【令和4年度】	

- ▶ 上通の科目の授業内容を充実させるため、担当する教員数を増とした(追加した科目は赤字で記載). 肥塚教授辞職(割愛).後任補充を検討したが、基幹科目ではないこと、後任獲得が困難であることなどから担当科目は廃止とした。 郭教授辞職、現在後任補充を検討している.担当科目は基幹科目ではないことから、2022年度は休講とした。 葛城准教授辞職(割愛).後任補充を検討したが、基幹科目ではないこと、後任獲得が困難であることなどから担当科目は廃止とした。 高橋(昴)准教授辞職(割愛).後任補充を検討したが、基幹科目ではないこと、後任獲得が困難であることなどから担当科目は廃止とした。 磯田 推教授辞職(割愛).後任補充を検討したが、基幹科目ではないこと、後任獲得が困難であることなどから担当科目は廃止とした。

- 四国税理士会との協定にもとづき派遣される非常勤講師が交代となり重松非常勤講師となった。

【令和5年度】

- ・授業内容をより正確に示すために、Globalization of higher education sectorをPlastics, marine garbage, and the environmentに科目名称の変更を行った.
- ・青木 (丈) 教授の担当科目 (隣接法律職講義エ) を実務家 (重松非常勤講師の担当に変更 ・高橋 (明) 教授が定年退職 台湾論は非常勤講師の担当 (高橋 (明) 教授を兼任教員として採用) とした.

- 高調・マガース以びたとすと観光。日内画はデオー対象的のグロコースを受け、対象と来ばな異として採用)とした。
 ・会計学原理担当から非上(書)教員のみとした。
 ・平田教授が定年退職、信頼性工学は、後任の大宮准教授を採用し担当に追加した。
 ・荒川教授の辞職(割愛). 応用最適化デザイン論及び応用統計学論の担当は非常勤講師(荒川教授を兼任教員として採用)とした。他の科目は、複数担当であるため補充
- は行わないこととした。
 ・紀伊教授が辞職(割愛). 都市・交通計画論の担当を非常勤請師(紀伊教授を兼任教員として採用)とした。
 ・青木(高)准教授が辞職(割愛). 後任補充を検討したが、困難であったため、ネットワーク解析は廃止とした。他の科目は複数担当であるため開講する。
 ・東浦准教授が辞任(割愛). 担当科目は、他の専任教員に交代した。
 ・佐藤(慶)教員が教授に昇任し研究指導教員とした。
 ・辻上教授の担当科目を24日追加した、教育課程の充実のため科目を追加したためである。
 ・ 恋恋性地科は私味(刺恩)、 経妊婦女を統計したが困難であったため、担当する?利日は廃止とした

- 齋藤准教授が辞職(割愛)、後任補充を検討したが困難であったため、担当する2科目は廃止とした。 塩谷准教授が辞職(割愛)、後任補充を検討したが困難であったため、1科目は他の専任教員が担当し、1科目は、当該教員を兼任教員として採用し開講することとし
- 富永准教授が辞職 担当科目は複数担当のため、他の専任教員が担当し開講した。 宮川教員が教授に昇任した。

- 李教員が辞任(割変) した。担当科目は複数担当のため他の専任教員が担当することとした。 平野教員を助教として採用した。 武田教員を助教として採用した。 長谷教員が講師から准教授へ昇任した。 宮崎(隼)教員が計師は対し、教育課程の充実のために追加した新科目の担当とした。
- 尹教員を科目担当教員とした
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **図可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
24	16	3
名	名	名

(注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学院】

		Ī	殳 置	時の計画	■					現在(韓	8告時)の状況	!			
教授	쯪	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教技	受	准教授	講館	助教	計 (B)	助手 (B')		
115		66	14	7	202	0	121		65	8	6	200	0		
(117))	(66)	(14)	(7)	(204)	(0)									
研究 指導 教 数	うち: 授数	教教		講義のみ担当 の教員数			研究 指導 数 数	うち 授	教教	導補助員数	講義のみ担当 の教員数				
175 (175)	115		8)	7 (6)			183	12	1 1	12	6				
(170)	(110			の完成年度時	O#30				現在(報告時)	の完成年度時	の計画			
		- 57.1工(秋口 吋/	の元以午及時	071K/JL										
教 授	受	准教授	講師	i 助教	計 (C)	助手 (C')	教技	受	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')		
121		65	8	6	200	0	121		65	8	6	200	0		
[6]	[Δ1]	[△6] [🛆1]	[\(\Delta 2 \)]	[0]	[6]	[\(\Delta 1 \)]	[△6] [\(\Delta 1 \)]	[\(\Delta 2 \)]	[0]		
研究 指導 数	うち: 授数	教教		講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち 授	教教	導補助員数	講義のみ担当 の教員数				
183	121	1	2	6			183	12	1 1	2	6				
[8]	[6] [△	78]	[Δ1]			[8]	[6] [∠	78]	[Δ1]				

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在 (報告時) の状況」には、報告年度の5月1日の教員数 (実人数) を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、既可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 教員審査を受害済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している数員数を加えた数を記入するとともに、
 - [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合: △1)
 ・「現在 (報告時) の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 (特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 設置時の計画(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = <u>0</u> 現在(報告時)の状況(B) = 200

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の	担:	当予定科目	後任	£補充状	況	京	t任辞 退	【未記	优任)の理	由		
				選択	新技術	fと法 I		3								
1	教授	肥塚 肇雄	R4. 3	選択	新技術	fと法Ⅱ		3		R4.3 本学	4.3 本学を辞職(割愛)したため就任					
l '	孙汉	心坏 羊組	114. 0	必修	特別研	特別研究 I ①				11:0 不子と近極く間交/ ひたためがは呼ば						
				必修	特別研	〒究 Ⅱ		1								
				選択	医用心	用工学		3								
2	教授	郭 書祥	R4. 3	必修	特別研	特別研究I				R4.3 本学を	辞職し	たたと	か就任辞退			
				必修	特別研究Ⅱ ①											
3	教授	葛城 浩一	R4. 3	選択	高等教	育論		3		R4.3 本学を	辞職	(割愛)	したため	就任辞	退	
				選択	分子疗	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	i	1								
4	准教授	磯田 恭佑	R4. 3	必修	特別研	f究 I		1		R4.3 本学を	辞職し	たたと	か就任辞退			
				必修	特別研	〒究 Ⅱ		1								
				選択		.共生地域	論	3								
5	准教授	髙橋 昂輝	R4. 3	必修	特別研			1		R4.3 本学を	辞職	(割愛)	したため	就任辞	退	
				必修	特別研	〒究 Ⅱ		1								
6	助教	北御門 雄大	R4. 3	選択	センサイ	ノベーション	工学	1		R4.3 本学	を辞職	(割愛)したため	就任辞	退	
		合計	(D)						往	後任補充状況	の集計	(E)				
穿	优任を辞	退した教員数	担当科目	関数の合計	(a) + (b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	ト数 (b)		③の合計	十数 (c))	
			必	修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			選	択	7	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	5	科目	
	6	Α	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
			Ī	†	15	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	5	科目	

- (注) 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全て<u>の専任教員</u>の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	1 後	任補充	犬況			辞任等	の理由			٦
				選択	創発の実践	İ	1								٦
				選択	エクスヘ゜リエンステ゜サ゜イン &.ア		1								
				選択	デザイン思考論	i	1								
				選択	応用最適化デザイ	ン論	2								
1	教授	荒川 雅生	R5. 3	選択	商品企画とビジネス展	開論	1			R5. 32	本学を	辞職(割愛)		
				選択	数理・データサイエン	ス論	1								
				選択	応用統計学論		2								
				必修	特別研究 I		1								
				必修	特別研究Ⅱ		1								
				選択	都市・交通計画	論	2								
2	教授	紀伊 雅敦	R5. 3	必修	特別研究 I		1			R5. 32	本学を	辞職 (割愛)		
				必修	特別研究Ⅱ		1								
				選択	数理・データサイエン	ス論	1								
3	准教授	青木 高明	R5. 3	選択	ネットワークデータ	解析	3			DE 2-	★ 学	辞職(割愛	`		
٥	准软技	月小 同明	NO. 3	必修	特別研究I		1			NO. 32	<u></u> ቀታ ፖ	汗戦 (司変	,		
				必修	特別研究Ⅱ		1								
				選択	ェクスヘ゜リエンステ゛サ゛イン&ア	−ト論	1								
				選択	地域芸術論		1]						
4	准教授	東浦 亜希子	R5. 3	選択	アート表現(鍵盤楽	器)	1		1	R5.3本学を辞職(割愛)					
				必修	特別研究 I		1								
				必修	特別研究Ⅱ		1								
5	准教授	齋藤 航	R5. 3	選択	民法Ⅲ		3			DE 3-	大学 た	は (割る)		
3	准拟技	MARK IVI	10.5	選択	民法Ⅳ		3		- R5.3本学を辞職(割愛) 						
				選択	経営戦略論		1								
6	准教授	塩谷 剛	R5. 3	選択	イノベーション	·論	2			DE 3-	大学た	辞職 (割愛)		
U	准拟技	抽口 啊	10.5	必修	特別研究I		1		'	NJ. J.	የተ ረ፣	计帧 (司及	,		
				必修	特別研究Ⅱ		1								
				選択	情報システム・セキュリティセ゛	ミナール	1								
7	准教授	富永 浩之	R5. 3	必修	特別研究 I		1			F	85.3本年	学を辞職			
				必修	特別研究Ⅱ		1								
8	助教	李 鯤	R5. 3	選択	人工知能・情報通信ゼミナ	+- <i>j</i> ı	1			R5. 3	本学を	辞職(割愛)		
		合計	(F)					後	经任補充状況	の集	計(G)			
	辞任し	た教員数	担当科目	目数の合計((a) + (b) + (c)	①の ₁	合計数(a)	②の合計	†数((b)	③の合	計数	(c)	
			必	修	12 科目	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	() #	目
			選	択	17 科目	選択	22	科目	選択	4	科目	選択		3 ≉	丰目
	8	人	自	由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	() #	4目
			ī	†	19 科目	計	34	科目	計	4	科目	計		3 ≉	丰目

- (注)・ 一度就任した後に、 $\mathbf{\underline{c}}$ 年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	後任補充状況の集計 (E) + (G)													
辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)						①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数							ζ (c))
		必修	20	科目	必修	20	科目	必修	0	科目	必修		0	科目
		選択	36	科目	選択	24	科目	選択	4	科目	選択		8	科目
14	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由		0	科目
		計	56	科目	計	44	科目	計	4	科目	計		8	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	14	_	6.02	%
(2)-②設置時の計画(A)	_	202		0.93	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況



- (注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択	・自由の別	担当う	5定科目	後任補	充状	況			辞任	等の	理由		
				選択	チャイ	ルド・サイエンス	概論	1)							
1	教授	山神 眞一	R5. 3	選択	子ども	学フィールド	演習 ①)		- R5.3定年退職			在退職		
'	孙汉	шт ц	10. 5	必修	特別	研究 I		1			NO. 3 正平返城					
				必修	特別	特別研究Ⅱ)							
				選択	台湾	論		2								
2	教授	髙橋 明郎	R5. 3	必修	特別	特別研究I		0			R5.3定年退職					
				必修	特別	特別研究Ⅱ		0								
3	教授	平田 英之	R5. 3	選択	機械	信頼性		1)			R5	. 3定	年退職		
		f	計								後任補充料	犬況の集	計			
	辞任し	した教員数	担当科目	数の合計	† (a) +	(b) + (c)	①の合	計数	(a)		②の合計数 (b)			③の合計	数(d	;)
			必	修	2	科目	必修		0	科目	必修	00	科目	必修	0	科目
			選	択	6	6 科目			7	科目	選択	00	科目	選択	1	科目
	3	λ.	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	00	科目	自由	0	科目
			Ī	+	8	科目	計		7	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(所見)

定年となる教員の担当科目については、設置計画時からの手当を構えていたため授業の提供には支障を来していない。しかし、今年度も 昨年度以上の辞職(割愛)する教員が生じた。本専攻の教育課程上の基幹となる科目については、専任教員の補充につめた。しかし、選択 科目かつ履修者希望者が比較的少ないと予想される科目の手当には限界があり、やむなく廃止した科目がある。しかし、近接分野の科目を

科目が一般修名布皇者が比較的少ないと予想される科目の手当には殴ぶかあり、やむなく廃止した科目がある。しかし、近接が野の科目を 新たに開設するなど、本専攻の目的達成のための手当は行えたと考える。 (学生への周知方法) 辞職が明らかになった時点で、研究指導にあたる予定かつ学生の志願者がいた教員については、志願者に伝達を行い、代替となる教員の 斡旋を行いった。特に、辞職する/した教員と専攻分野を同じくする教員が指導を行っている。 定年となる/なった教員については、定年の年度を学生に予め説明し、科目や指導の選択にあたって相談を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
事前相談 時 (令和4年)	・修士課程における経済学の基礎(例えばミクロ経済学)を学修できるよう、教育課程の内容を充実させること。	談(国 立)]遵	教育課程の質的、量的な拡充をはかるため、 数理経済 学、地方財政論の2科目を追加した、新たに追加した数理経済 済学は、経済学の基本となるミクロ・マクロ経済学を補完 し、数学的な観点から経済理論の概念や体系を修得するた め利目となっている。また、科目の拡充けでなく、 層的な科目の位置づけや履修指導により、学生に基礎から 応用に向けて体系的な履修を行わせていることを明確に 伝達するため本研究科の説明文書を充実させた。	創発の概念を含め、本研究科の教育課程、履修指導、研究指導の内容 説明を継続して行う。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>**当該大学に付された指摘を</u></u>**

全で記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

< 創発科学研究科創発科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	感染症抑止のため、1回(進学希望者対象 2021年度11月)の実施にとどまった。 オンラインによる実施したため、相談期間を長期に渡り設定した。 また、HPを新たに設け、その中で、ガイダンス用の本専攻の教育内容、入試の概要を記載した資料を常時掲載した。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

教務委員会及び入学試験委員会

大学院教学センター会議

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

教務委員会及び入学試験委員会は月に1度の頻度で開催

大学院教学センター会議は適宜実施

c 委員会の審議事項等

教務委員会

教育課程についての基準及びそれに基づく教育の方針についての立案及びその実施に関すること。

学生生活に関すること

入学試験委員会

入学試験に関する事項についての立案及び実施に関すること。

オープンキャンパスに関すること

大学院教学センター会議

創発科学研究科共通科目に関すること. 社会人学生に関することなど.

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ア. 研究倫理教育について
 - イ. 創発科学研究科の教育課程について
 - ウ. 共通科目担当者の意見交換会
 - b 実施方法
 - ア、イについてはTeamsによる遠隔会議方式

遠隔会議方式で行った内容を録画し、各系領域に配布し常時閲覧可とした。

ウについては、対面で実施した

c 開催状況(教員の参加状況含む)

ア、イは、令和4年2月13日にリアルタイムで実施。録画データを常時公開(参加及び視聴人数凡そ80人程度) ウは、令和4年9月30日に実施した。(参加及び視聴人数凡そ20人程度)

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - 内容に基づき、特に学位論文の質の向上のための制度を点検し改善のための議論を各系領域で実施した。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 第1学期末、第2学期末(クオーター科目については各クオーター末)に実施した。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - 公開について教務員会で議論し、令和4年度分を一括して公開した。
 - (注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)
 - (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、	専門職短期大学、	専門職学科、	専門職大学院以外は	「該当なし	」と記入	ください
/•/ T J#9#/ \ T \						\/C_V

※等門職人字、	导门瞰起期入学、	导门晾子科、	専門職人学院以外は「該当なし」と記入ください。
該当なし			

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科が目的とする状態に達するかどうかの把握にはいくつかの段階をもって対応したいと考える。

1つめは、本研究科の理念を体現したともいえる共通科目の状態である。これについては、授業評価や聞き取りをつうじて、達成状況把握の一貫としたい。つづいて、2年次に行われる学位論文中間報告会である。特定の分野のに限らず、他の分野への関心や知見を如何に学生が発露するかを発表内容により把握が可能である。

主に以上の2点を重視し、達成状況の把握に努める.

1つめについては、大学院教学センターが教務委員会とは別に共通科目の企画・点検を常時行っている.

また、令和4年度には機関別認証評価の受審を通じて行った。さらに、学生に聴き取り調査も行い、これらの結果を分析・統合し自己評価を行った。

目的の達成に向かって進行しているが、授業の実施場所、方法、時間帯について改善の提案が学生、教員からなされ議論を行い可能な範囲で対応を行った。今後も常時の点検が必要と認識した.

2つめについては、主として9月に実施予定の中間報告会を実施した結果を分析・評価を行う。

② 自己点検·評価報告書

大学機関別認証評価自己評価書(令和4年6月)及び令和4年度実施大学機関別認証評価評価報告書(令和5年3月)

a 公表 (予定) 時期

自己評価書 令和4年6月公表

令和4年度実施大学機関別認証評価評価報告書 令和5年3月公表

b 公表方法

大学ホームページ上に公開した。

③ 認証評価を受ける計画

引き続き大学機関別認証評価の受審を検討している。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

O 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

a 公表予定の有無 〔 有 〕

≪aで「有」の場合≫

b 公表(予定)時期 [公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。